

和泉市 スポーツ推進基本計画

スポーツを楽しむまち和泉
～豊かな自然にかこまれて～

い

ってみよう、やってみよう、スポーツを！

ず

っと元気に

み

んなの笑顔があふれるまち

平成 25 年 3 月
和泉市

ご あ い さ つ



このたび、平成15年に策定した「和泉市生涯スポーツ振興基本計画」を改定し、今後10年間の本市のスポーツを推進する計画「和泉市スポーツ推進基本計画」を策定しました。

市民の健康に対する関心が高まる中、スポーツは、子どもの体力向上、働き盛りの成人の健康維持、高齢社会における介護予防など、市民が明るく元気に暮らせる環境づくりの一つとして、大きな役割を果たしています。

しかしながら、近年の社会環境・生活環境の変化は、市民の身体的活動の機会を減少させるとともに、精神的なストレスの増大にも繋がっており、市民の心身の健康保持、増進のため、市民ニーズと時代に即した新しいスポーツ推進施策が求められています。

本市ではこのような背景を踏まえ、「いってみよう、やってみよう、スポーツを！ ずっと元気に みんなの笑顔があふれるまち」をスローガンに推進基本計画を策定しました。

今後はこの基本計画に掲げた「誰もが気軽にスポーツができる環境の充実」「競技スポーツとスポーツを通じた交流の振興」「スポーツ活動を支援する仕組みづくり」を目標にして、市民、地域、学校や企業、スポーツ団体など皆さまのご理解とご協力のもと、関係各位との連携を図り、「スポーツを楽しむまち和泉 ～豊かな自然にかこまれて～」の実現に取り組んでまいります。

結びに、「和泉市スポーツ推進基本計画」の策定にあたり、貴重なご提言・ご意見を賜りました和泉市スポーツ推進基本計画策定委員会の委員の皆さまをはじめ、市民意識調査にご協力いただきました市民の皆さま並びに関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

平成25年3月

和泉市長 辻 宏康

目 次

第1章 計画策定にあたって	1
1.計画策定の趣旨.....	1
2.計画の目的.....	2
3.計画の位置付け.....	2
4.計画の期間.....	2
5.スポーツの定義.....	2
第2章 本市のスポーツに関わる現状	3
1.本市を取り巻く環境とスポーツ.....	4
(1)人口.....	4
(2)本市の特性.....	5
(3)これまでの取り組み.....	6
2.年代別に見た市民のスポーツ活動状況.....	8
(1)成人.....	8
(2)子ども.....	19
(3)高齢者.....	21
3.市民の健康状態や体力に関する意識について.....	23
(1)市民の健康状態について.....	23
(2)市民の体力状態について.....	24
(3)運動不足を感じる割合について.....	26
(4)市民の健康状態や体力についてのまとめ.....	27
4.市内のスポーツ団体の状況.....	28
(1)スポーツ団体への加入状況.....	28
(2)和泉市体育協会.....	29
(3)総合型地域スポーツクラブについて.....	29
(4)市内のスポーツ団体についてのまとめ.....	29
5.市内のスポーツ施設の状況.....	30
(1)社会体育施設の状況.....	30
(2)学校体育施設の開放利用状況.....	30
(3)スポーツ施設に対する市民の反応.....	31
(4)市内の民間スポーツクラブ・施設の状況.....	32
(5)市内のスポーツ施設のまとめ.....	33
6.各種スポーツ教室や大会の状況.....	34
(1)市が実施しているスポーツ・レクリエーション事業やスポーツ教室.....	34
(2)市主催のスポーツイベントやスポーツ教室の参加状況.....	34

7.ささえるスポーツの状況.....	36
(1) スポーツボランティアの活動について.....	36
(2) スポーツ推進委員について.....	36
8.本市に望むスポーツ施策.....	37
(1) スポーツを推進させるための要望・希望.....	37
(2) 市民が望む公共スポーツ施設.....	38
(3) 本市に望むスポーツ施策のまとめ.....	38
第3章 本市のスポーツ推進に向けた課題の整理	39
1.スポーツの実施率向上に向けた、ライフステージに応じたスポーツの啓発・きっかけづくり.....	39
2.子どもたちの体力・運動能力向上に向けたきっかけづくり.....	39
3.高齢者や障がい者が気軽に運動・スポーツができる環境づくり.....	39
4.スポーツ施設の充実や運用方法の改善.....	40
5.総合型地域スポーツクラブをはじめ、地域でのスポーツ団体の活性化.....	40
6.スポーツボランティアの育成と活用機会の充実.....	40
7.スポーツに関する情報提供や発信力の強化.....	40
第4章 基本方針と目標	41
1.基本方針.....	41
2.基本目標.....	42
(1) 誰もが気軽にスポーツができる環境の充実.....	42
(2) 競技スポーツとスポーツを通じた交流の振興.....	42
(3) スポーツ活動を支援する仕組みづくり.....	42
3.計画の体系.....	43
4.数値目標.....	44
第5章 具体的施策の展開	45
1.誰もが気軽にスポーツができる環境の充実.....	45
(1) スポーツ活動のきっかけづくり.....	45
(2) ライフステージに応じたスポーツ活動の促進.....	46
(3) 新たなスポーツ施設の整備.....	48
(4) 既存体育施設の機能強化.....	48
2.競技スポーツとスポーツを通じた交流の振興.....	50
(1) 競技スポーツの振興.....	50
(2) 地域でのスポーツを通じた交流の推進.....	51
(3) 本市ならではのスポーツ事業の推進.....	51
3.スポーツ活動を支援する仕組みづくり.....	51
(1) スポーツ活動を支える人材の育成や連携の強化.....	51
(2) スポーツや運動に関する情報提供体制の充実.....	52
(3) 関係機関や団体との連携強化.....	52
第6章 計画の推進体制	52

資料編	53
1.和泉市スポーツの歩み.....	53
2.和泉市内スポーツ施設マップ.....	54
3.和泉市社会体育施設の概要	55
4.和泉市社会体育施設等の利用実態（経年変化）	57
5.公共のスポーツイベントの開催・参加状況（平成 13・23 年度）	58
6.主なスポーツ教室の開催・参加状況（平成 13・18・23 年度）	59
7.和泉市スポーツ推進基本計画策定委員会名簿.....	60
8.和泉市スポーツ推進基本計画策定委員会審議の経過.....	61
9.和泉市スポーツ推進基本計画策定委員会規則.....	62



信太山クロスカントリー大会

第1章 計画策定にあたって

1.計画策定の趣旨

スポーツは、健康や体力の維持増進やストレス解消に対する効用など、人々の心身両面に大きな影響を与えるとともに、地域での活動によるコミュニティの活性化、青少年の健全育成等、明るく活力に満ちた社会の形成や地域の豊かさをもたらす一助となるものです。

近年、少子高齢化や地域コミュニティの希薄化等が叫ばれている中、市民の健康増進や地域社会の連携、青少年の心身の健全育成など、スポーツの果たす役割は大きなものとなっています。

このような、スポーツの重要性に対する意識の高まりから、国においては、昭和36年に制定した「スポーツ振興法」を平成23年8月に50年ぶりに全面的に改定し、「スポーツ基本法」を施行しました。また、基本法に準じ、平成24年3月には「スポーツ基本計画」を策定し、今後めざすべき社会の姿として、“スポーツを通じてすべての人々が幸福で豊かな生活を営むことができる社会”という新たなスポーツ文化の確立に対する考え方が記されています。

また、大阪府においても、平成24年4月に、「大阪府スポーツ推進計画 ～大阪スポーツ王国の創造～」を策定し、「大阪スポーツ王国の創造」をめざすと記されています。

本市においても、平成15年3月に「和泉市生涯スポーツ振興基本計画 ～市民のスポーツライフを支える豊かな環境の整備～」を策定し、“空間システムの充実”“サービスシステムの充実”“マネジメントシステムの充実”を三本柱とした基本方針に沿った様々な施策を実施し、スポーツの活性化を図ってきました。

しかしながら、近年、高齢社会による介護予防や健康に対する関心の増加、生活習慣病や成人病の予防、子どもの体力低下の防止など、市民を取り巻く環境が大きく変わってきています。これらの諸問題に対応するために、市民の誰もが身近にスポーツを楽しめる環境を整え、地域や学校・家庭・スポーツ団体が連携を深めることで、スポーツを通じた地域づくりが必要です。

このような背景を踏まえ、「スポーツを楽しむまち和泉 豊かな自然にかこまれて」をめざすため、「いってみよう、やってみよう、スポーツを！ ずっと元気に みんなの笑顔があふれるまち」をスローガンに、「和泉市スポーツ推進基本計画」（以下「本計画」という。）を策定するものです。

めざす都市像

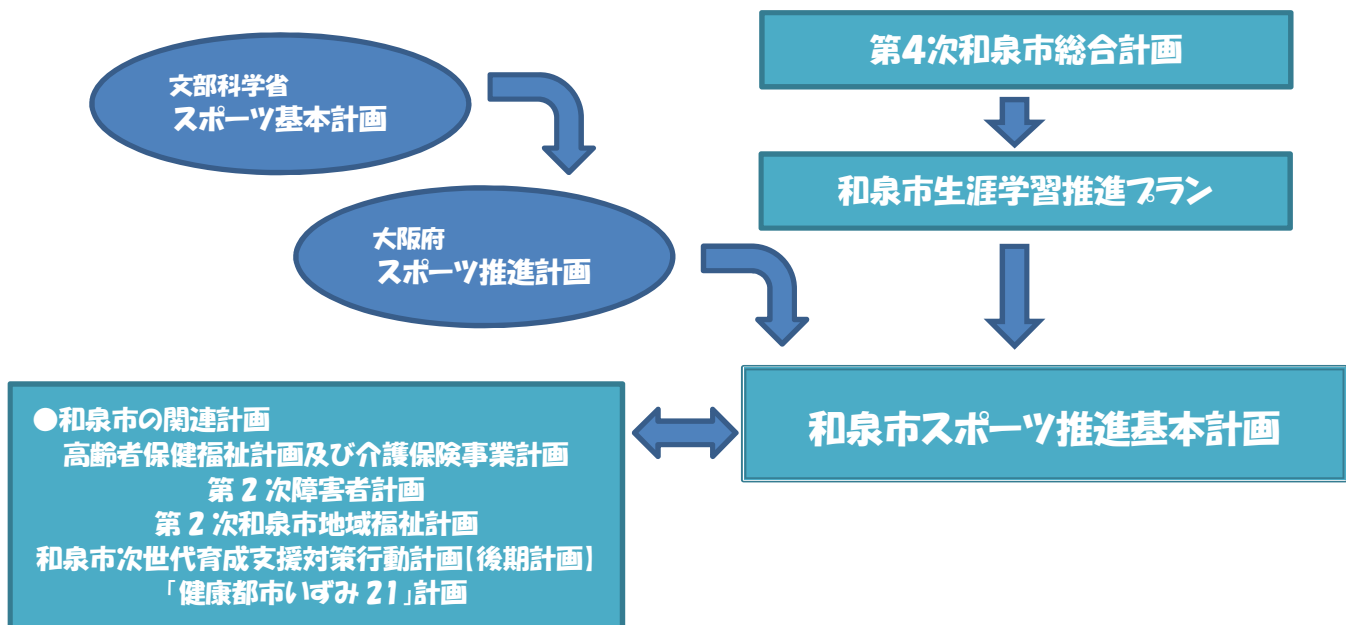
スポーツを楽しむまち和泉 ～豊かな自然にかこまれて～

2.計画の目的

本計画は、スポーツ基本法の趣旨に基づき、すべての市民がスポーツの価値を共有し、スポーツを楽しむ機会が確保されるための方針と施策を明確に定め、スポーツ推進に関わる多様な施策を総合的かつ計画的に推進を図っていくものです。

3.計画の位置付け

本計画は、第4次和泉市総合計画と和泉市生涯学習推進プランを受け、市民に生涯学習やスポーツ・レクリエーション活動をおこなう機会を提供するために策定されるものであり、国の「スポーツ基本計画」、大阪府の「大阪府スポーツ推進計画」をはじめ、本市の「高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」や「第2次障害者計画」「第2次和泉市地域福祉計画」「和泉市次世代育成支援対策行動計画【後期計画】」などの福祉計画、「健康都市いずみ21」計画等の関連計画との整合性を図り、本市のスポーツ施策を計画的、総合的に推進します。



4.計画の期間

本計画は、平成25年度から平成34年度までの10年間とします。

なお、当該期間中において社会情勢等にあわせ、必要に応じて見直しをおこないます。

5.スポーツの定義

本計画における「スポーツ」とは個人やチームの競技スポーツだけではなく、散歩やジョギングなどの軽い運動も含め、レベルや内容、年代に関わらず、自由時間の中で自発的に実施される人々の身体運動を伴うすべての文化的活動として、スポーツを定義します。

また、「する」スポーツだけでなく、スポーツボランティアや指導者などの分野も総合的に定義します。

第2章 本市のスポーツに関わる現状

本計画を策定するため、平成24年7月～8月に、「和泉市スポーツ推進計画策定のための市民アンケート調査」を実施しました。本章では、このアンケートの結果を中心に、国や大阪府等が実施した既存調査や各種統計資料を参考に、市民のスポーツとの関わり方における現状を分析し、整理しました。

●参考としたアンケート調査の概要

・和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査

調査地域：和泉市全域、調査対象：18歳以上の男女、対象者数：3,000人、調査方法：郵送法

調査期間：平成24年7月31日～平成24年8月27日

有効回答件数：1,137件（有効回答率：38.1%）

・スポーツに関する市民意識調査（和泉市）

調査地域：和泉市全域、調査対象：18歳以上の男女、対象者数：3,000人、調査方法：郵送法

調査期間：平成12年10月16日～平成12年11月20日

有効回答件数：1,267件（有効回答率：42.2%）

・体力・スポーツに関する世論調査（内閣府）

調査地域：全国、調査対象：20歳以上の男女、対象者数：3,000人、調査方法：個別面接聴取法

調査期間：平成21年9月21日～平成21年10月4日

有効回答件数：1,925件（有効回答率：64.2%）



市民ゴルフ大会



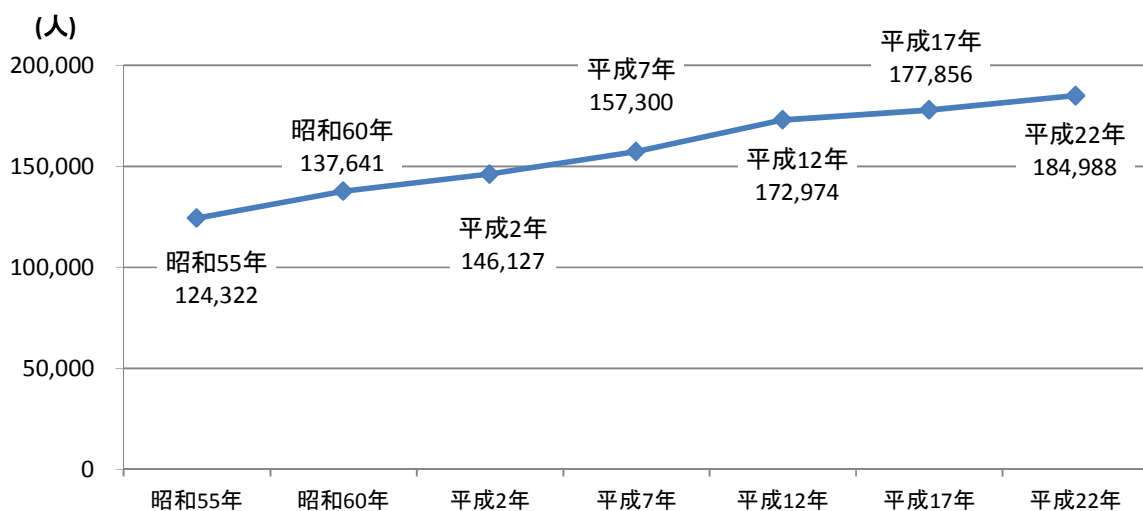
1.本市を取り巻く環境とスポーツ

(1) 人口

本市の人口は、独立行政法人都市再生機構によるトリヴェール和泉の開発などにより、増加傾向が続いており、人口動向（図表-1）をみると平成22年には184,988人となっています。また、今後も開発計画に沿って宅地分譲がおこなわれる予定となっており、人口の増加が見込まれます。

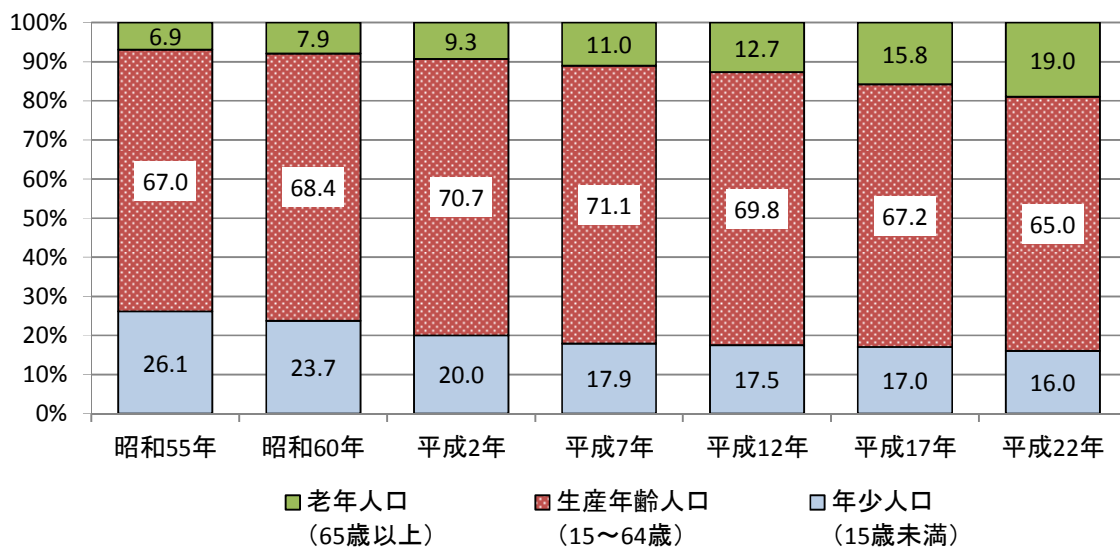
年齢三区分別構成比（図表-2）の推移をみると、人口増加に伴い、老年人口（65歳以上）の割合が増加する反面、生産年齢人口や年少人口の割合は減少傾向にあり、年齢構成ピラミッド（図表-3）をみても、今後も高齢化が進むことが見込まれます。

図表-1 人口動向(昭和55年～平成22年)



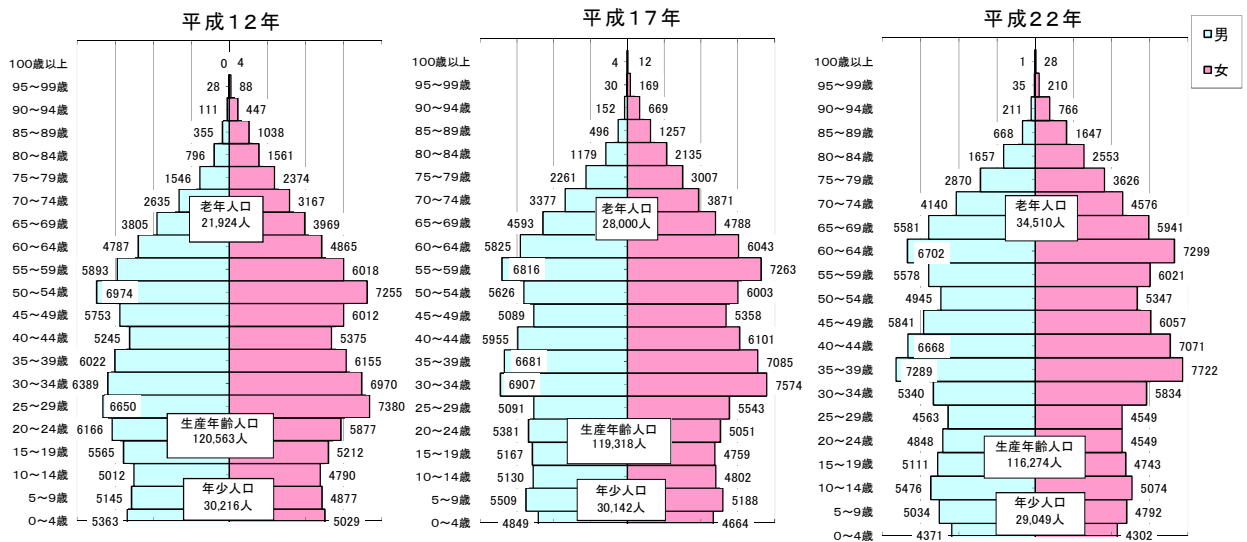
資料: 国勢調査

図表-2 年齢三区分別の構成比の推移(昭和55年～平成22年)



資料: 国勢調査

図表-3 年齢構成ピラミッド(平成12・17・22年の推移)



資料: 国勢調査

(2) 本市の特性

本市は、大阪府南部の泉州地域の北部に位置し、大阪都心から約25km、関西国際空港から約20kmの距離にあり、関西国際空港の開業を機に整備された交通インフラを生かした新産業拠点（テクノステージ和泉等）への企業進出やトリヴェール和泉の基盤整備を着実に進め、住宅都市として、府内有数の人口増のまちとして育ってきました。

また、市内では、古くからの集落を基盤として形成された居住地と新たな宅地開発によって形成された居住地があり、それぞれの特色に応じたコミュニティが形成されており、スポーツの推進においても新旧の住民それぞれを視野に入れた取り組みが重要となってきます。

そうした住民の活動拠点としても市民体育館やコミュニティ体育館、グラウンド、テニスコート等が、北西部地域、中部地域に整備されています。



和泉弥生ロマン・ツデーウォーク

(3) これまでの取り組み

平成15年に策定した和泉市生涯スポーツ振興基本計画では施策の基本方針を3つの柱（①スポーツ・レクリエーション空間システムの充実、②スポーツ・レクリエーションサービスシステムの充実、③スポーツ・レクリエーションマネジメントシステムの充実）を立てて施策を展開してきました。各柱の現在までの取り組み状況は以下のとおりです。

①スポーツ・レクリエーション空間システムの充実

平成15年完成の生涯学習センター（和泉シティプラザ：いぶき野五丁目）に特別教室（運動室）を設置し、平成20年完成の南部リージョンセンター（仏並町）に多目的ホール（スポーツ対応）や軽運動室、多目的広場を設置し、平成23年に開設したくすのぎ公園（はつが野五丁目）にはテニスコート2面と多目的広場を整備し、スポーツ・レクリエーション施設の整備の充実などに取り組んできました。現在、建設を予定している北部リージョンセンター（太町）も運動室と多目的グラウンドを予定しています。

また、新たな拠点施設の整備に向けて信太山にスポーツ・レクリエーション施設を計画していましたが、当該地に残る自然環境の保全と活用へと方針を変更したことから、今後これに代わる新たなスポーツ施設の整備が求められています。

社会体育施設の管理については、指定管理者制度を平成18年度から導入し、民間のノウハウを生かした経営に努めています。

②スポーツ・レクリエーションサービスシステムの充実

スポーツ・レクリエーション活動を充実させるため、各体育施設に指定管理者制度を導入し、市民ニーズに即した管理運営に心がけると共に各施設のホームページ（市のホームページと指定管理者のホームページ）を作成し、利用の促進に努めています。

高齢者のスポーツ・レクリエーションの一環として老人クラブ連合会と連携し、グラウンドゴルフの普及に努めたところ、グラウンドゴルフ連盟が発足し、平成19年体育協会に加盟しました。

平成18年からは、和泉市キンボールスポーツ大会を桃山学院大学と共催しており、今年で第8回大会を迎えています。その他に市民ゴルフ大会は平成7年から実施し、第17回大会を迎えるまでになっています。体育指導委員協議会（現スポーツ推進委員協議会）と連携して開催したインディアカ大会を平成11年から開催し、その普及に努めた結果、和泉市インディアカ協会の発起までに至っています。

このように、サービスシステムの充実に向けての取り組みを実施しており、特に市のホームページについては迅速に情報発信できるように心掛けています。

③スポーツ・レクリエーションマネジメントシステムの充実

スポーツ少年団への加入や各種講習会の案内を各種団体に告知し、スポーツをささえる人の人材育成に努めました。

体育協会が主催する各種市民体育大会における体育施設の優先利用等をおこない、スポーツ競技の振興に努めたところ、平成15年の体育協会加盟団体は15連盟でしたが、以降に太極拳連盟とグラウンドゴルフ連盟が加盟し、17団体となっています。

また、平成13年度から近畿大会や全国大会、国際大会において、優秀な成績を収めた、選手や団体に、スポーツ振興奨励費を交付しており、平成23年度は87個人・11団体に奨励費を交付するとともに広報紙に内容を掲載し、スポーツの奨励に努めました。

総合型スポーツクラブの設立については、平成19年に光明台地区で大阪和泉光倶楽部が設立され、土曜日・日曜日を中心に活動を展開しています。

上記のように、スポーツの振興の各種取り組みを実施していますが、社会体育施設の利用者数は若干減少しており、社会体育施設の利用者数から見ると結果に繋がっていない状況となっています。

また、子どもの体力は低下傾向から好転してきており、市民の運動・スポーツを実施する割合も増えています。

しかし、高齢社会を迎え市民がスポーツを気軽にできる環境を求める声が増加しており、今後も運動・スポーツに参加する機会を増やし、市民の健康・体力づくりの推進を図ることが必要であります。



和泉市民秋季ファミリー歩こう会



2.年代別に見た市民のスポーツ活動状況

(1) 成人

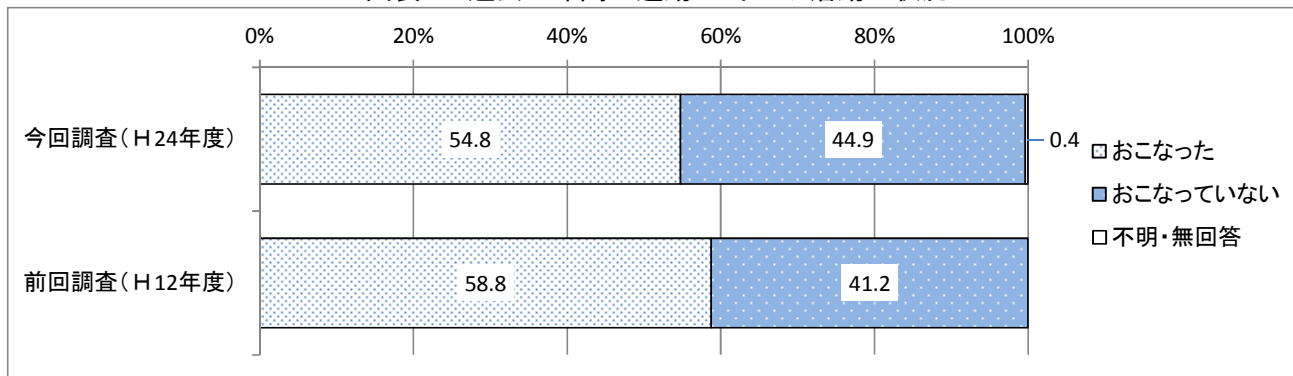
①運動・スポーツの活動状況

過去1年間で何らかの運動・スポーツ活動状況をみると、54.8%の人が「おこなった」と答えています。前回調査（平成12年度）【58.8%】と比較すると、4%減少しています。

また、運動・スポーツをおこなった人に、活動頻度を尋ねたところ「週に1～2日（年51日～150日）」が34.0%と最も多く、「週に3日以上（年151日以上）」（28.3%）を合わせると62.3%となっています。これは、全国調査の58.3%を上回っており、前回調査（平成12年度）の50.1%からも増加しています。

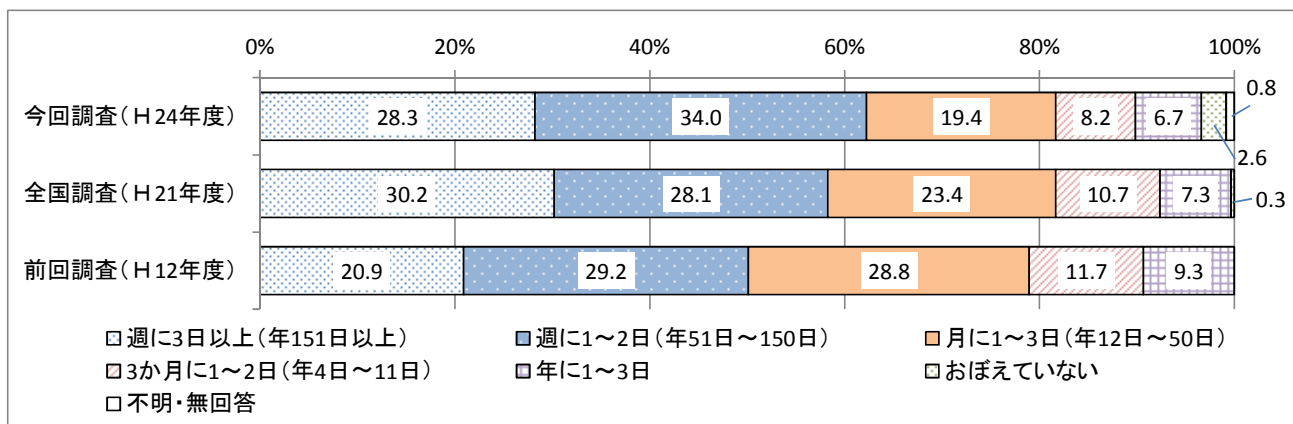
今回の調査結果では、週に1回以上運動している人は、34.1%となっています。

図表-4 過去1年間の運動・スポーツ活動の状況



資料：和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査
前回調査（スポーツに関する市民意識調査）

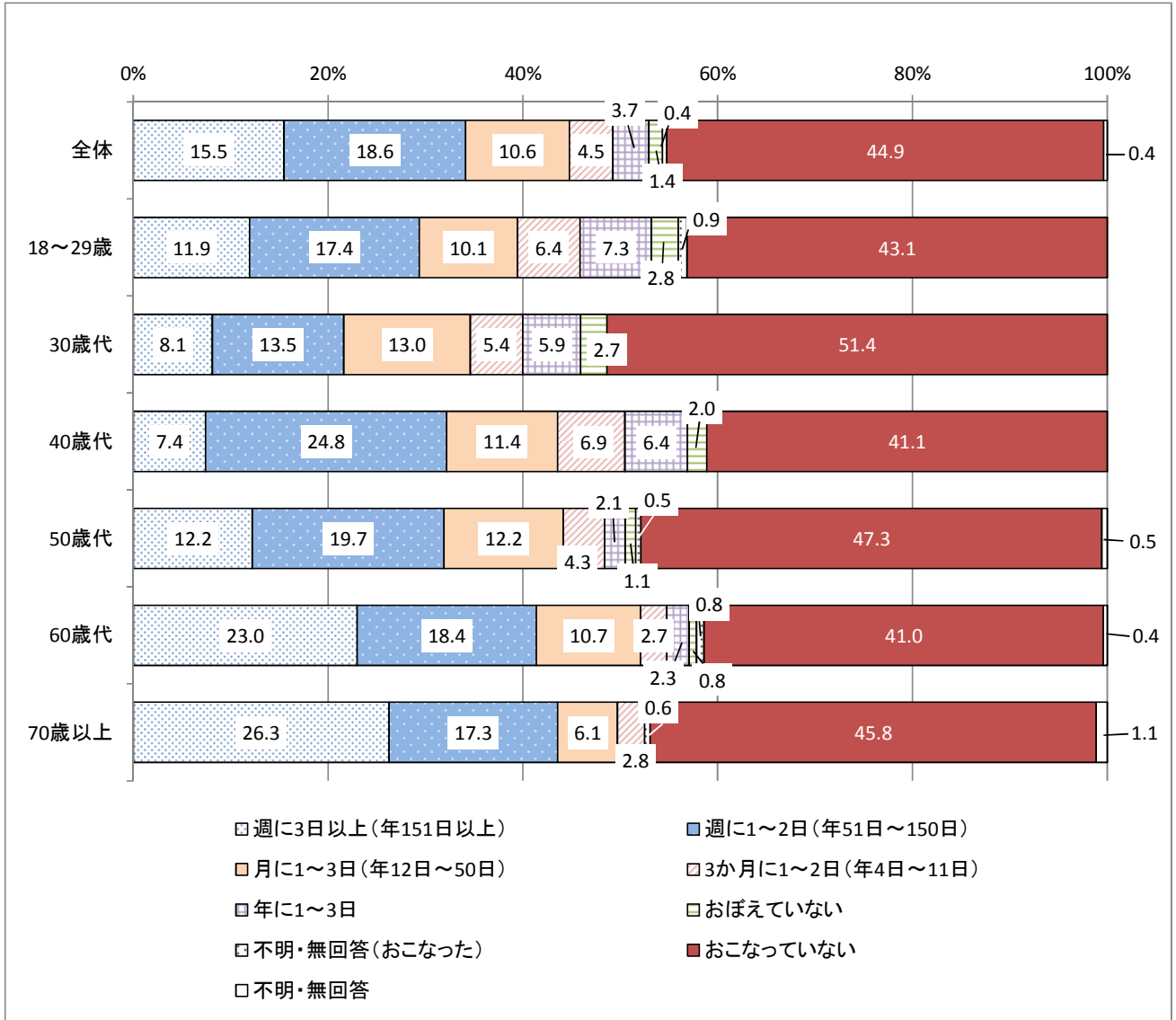
図表-5 運動・スポーツ活動をおこなった頻度（運動・スポーツをおこなった人）



資料：和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査
全国調査（体力・スポーツに関する世論調査）

過去1年間の運動・スポーツ活動をおこなった頻度を年齢別にみると、週に1日以上運動する人は、年齢が高いほど多くなっており、60歳代以上は40%を超えています。30歳代では21.6%と一番少なくなっています。

図表-6 【年齢別】運動・スポーツ活動をおこなった頻度

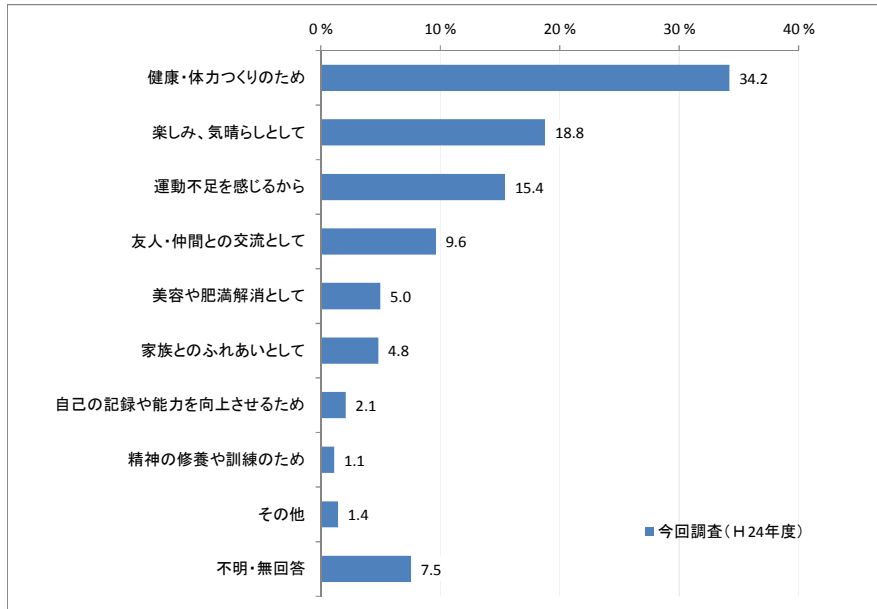


資料:和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査

②運動・スポーツをした主な理由

運動・スポーツをおこなっている方に、主な理由を尋ねたところ「健康・体力づくりのため」が34.2%と最も多く、次いで「楽しみ、気晴らしとして」18.8%、「運動不足を感じるから」15.4%の順となっています。

図表-7 運動・スポーツをした主な理由



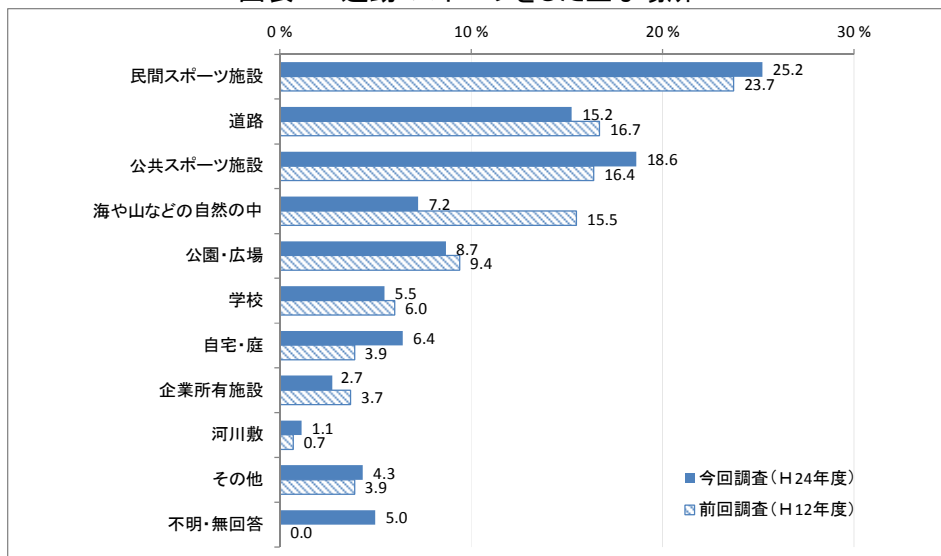
資料：和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査

③運動・スポーツをした主な場所

運動・スポーツをおこなっている方に、主な場所を尋ねたところ「民間スポーツ施設」が25.2%と最も多く、次いで「公共スポーツ施設」18.6%、「道路」15.2%の順となっています。

前回調査と比較すると公共・民間のスポーツ施設の利用が増加している一方、海や山などの自然の中での活動が減少傾向にあります。

図表-8 運動・スポーツをした主な場所



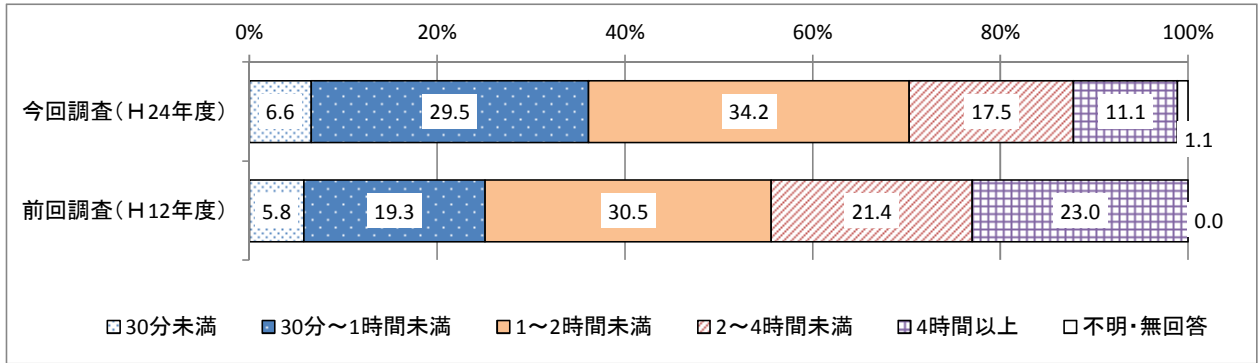
資料：和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査
前回調査(スポーツに関する市民意識調査)

④運動・スポーツに費やす1回あたりの時間

運動・スポーツをおこなっている方に、1回あたりに費やす時間を尋ねたところ、「1～2時間未満」が34.2%と最も多く、次いで「30分～1時間未満」29.5%、「2～4時間未満」17.5%の順となっています。

前回調査と比較すると、2時間未満の短い時間が増加し、2時間以上費やしている人は減少しています。

図表-9 運動・スポーツに費やす1回あたりの時間



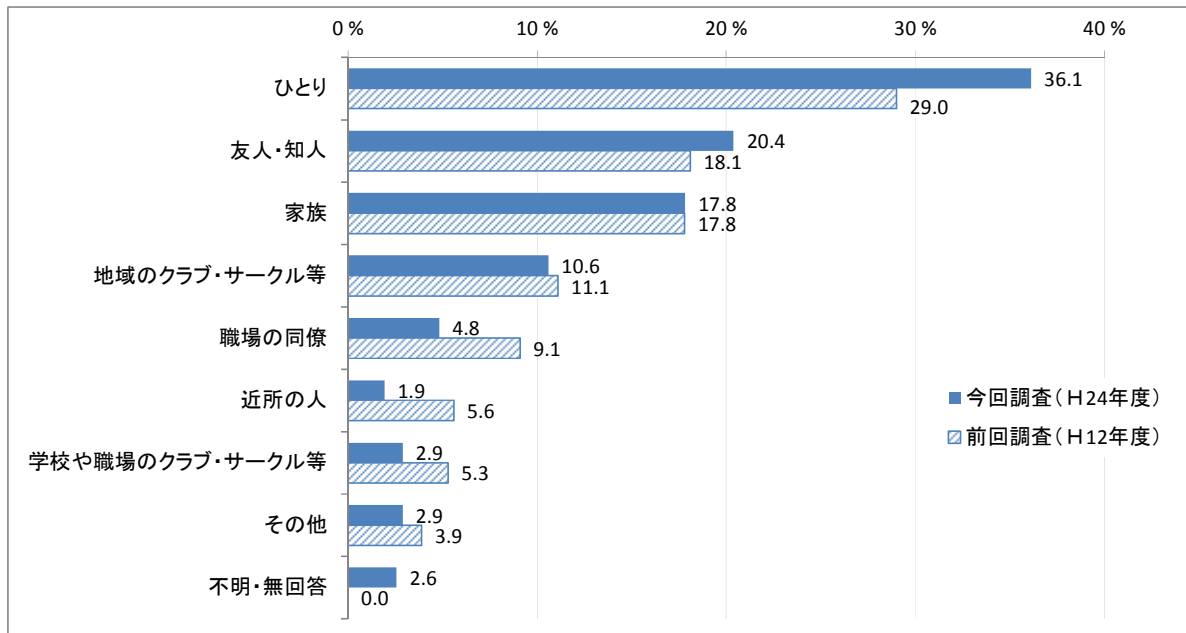
資料:和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査
前回調査(スポーツに関する市民意識調査)

⑤運動・スポーツを主に一緒におこなう人

運動・スポーツをおこなっている方に、運動・スポーツを主に一緒におこなう人を尋ねたところ、「ひとり」が36.1%と最も多く、次いで「友人・知人」20.4%、「家族」17.8%の順となっています。

前回調査と比較すると、「ひとり」と「友人・知人」が増加し、「近所の人」や「職場の同僚」が減少しています。

図表-10 運動・スポーツを主に一緒におこなう人

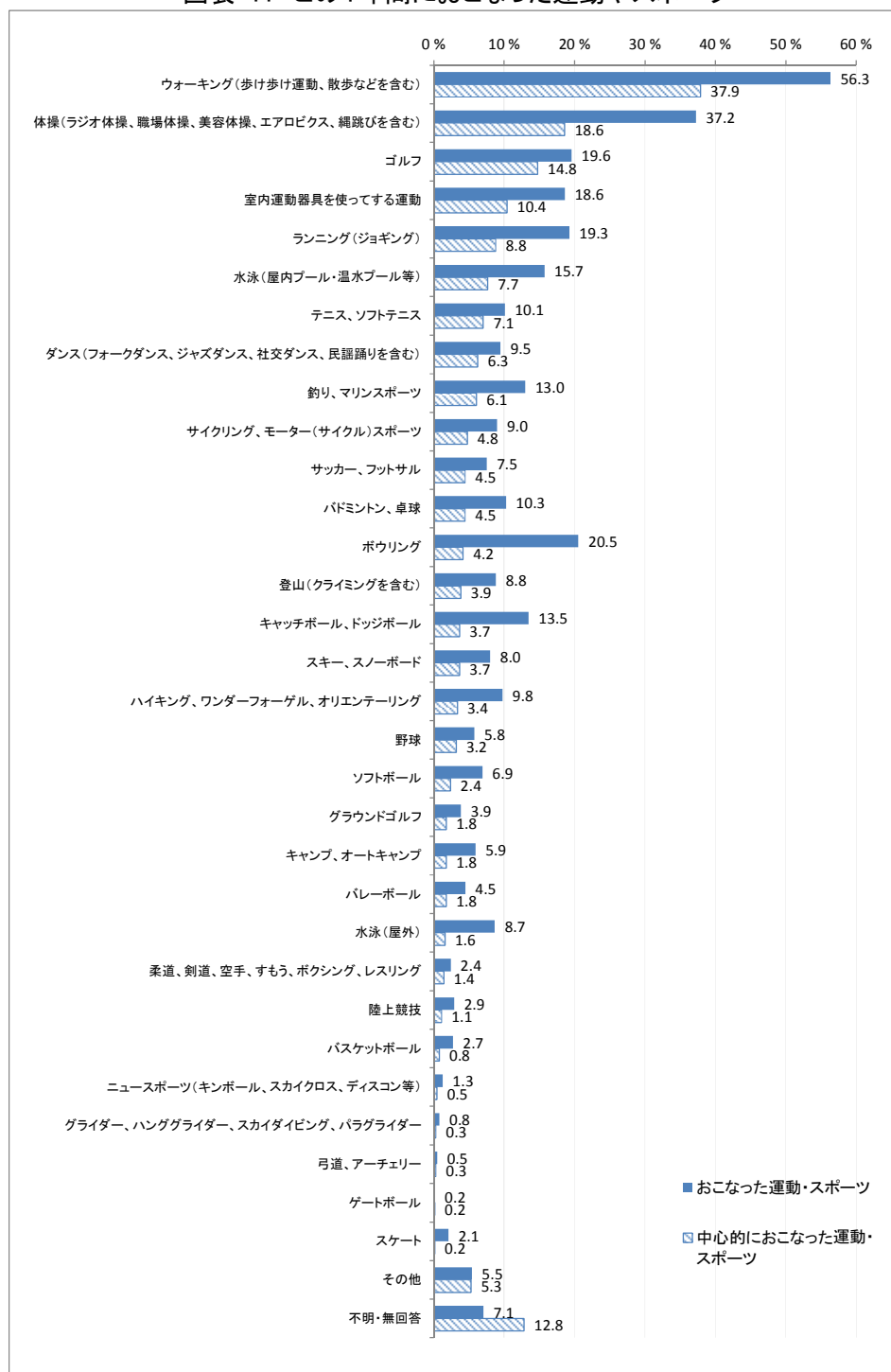


資料:和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査
前回調査(スポーツに関する市民意識調査)

⑥この1年間におこなった運動・スポーツと今後おこなってみたい運動・スポーツ

運動やスポーツをおこなっている方に、この1年間におこなった運動やスポーツをすべて尋ねたところ、「ウォーキング（歩け歩け運動、散歩などを含む）」が56.3%と最も多く、次いで「体操（ラジオ体操、職場体操、美容体操、エアロビクス、縄跳びを含む）」37.2%、「ボウリング」20.5%の順となっています。また、中心におこなった運動・スポーツでは、ウォーキングと体操の上位2種目に変動はありません。

図表-11 この1年間におこなった運動やスポーツ



資料：和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査

年代別に、この1年間に中心적으로おこなった運動・スポーツをみると、すべての年代で「ウォーキング」が最も多く、50歳代以上では40%以上となっています。2位以下で特徴的なものをみると、30歳代では「ランニング（ジョギング）」、40歳代以上では、「ゴルフ」が多くなっています。

図表-12 この1年間に中心적으로おこなった運動・スポーツの順位

(単位:%)

年代 \ 順位	第1位	第2位	第3位
全体	ウォーキング 37.9	体操 18.6	ゴルフ 14.8
18～29歳	ウォーキング 19.4	体操 17.7	室内運動器具を使っ てする運動 17.7
30歳代	ウォーキング 38.9	ランニング (ジョギング) 16.7	体操 15.6
40歳代	ウォーキング 30.3	体操 20.2	ゴルフ 20.2
50歳代	ウォーキング 42.9	体操 23.5	室内運動器具を使っ てする運動、ゴルフ 15.3
60歳代	ウォーキング 47.1	体操 18.3	ゴルフ 15.7
70歳以上	ウォーキング 40.0	体操 14.7	ゴルフ 14.7

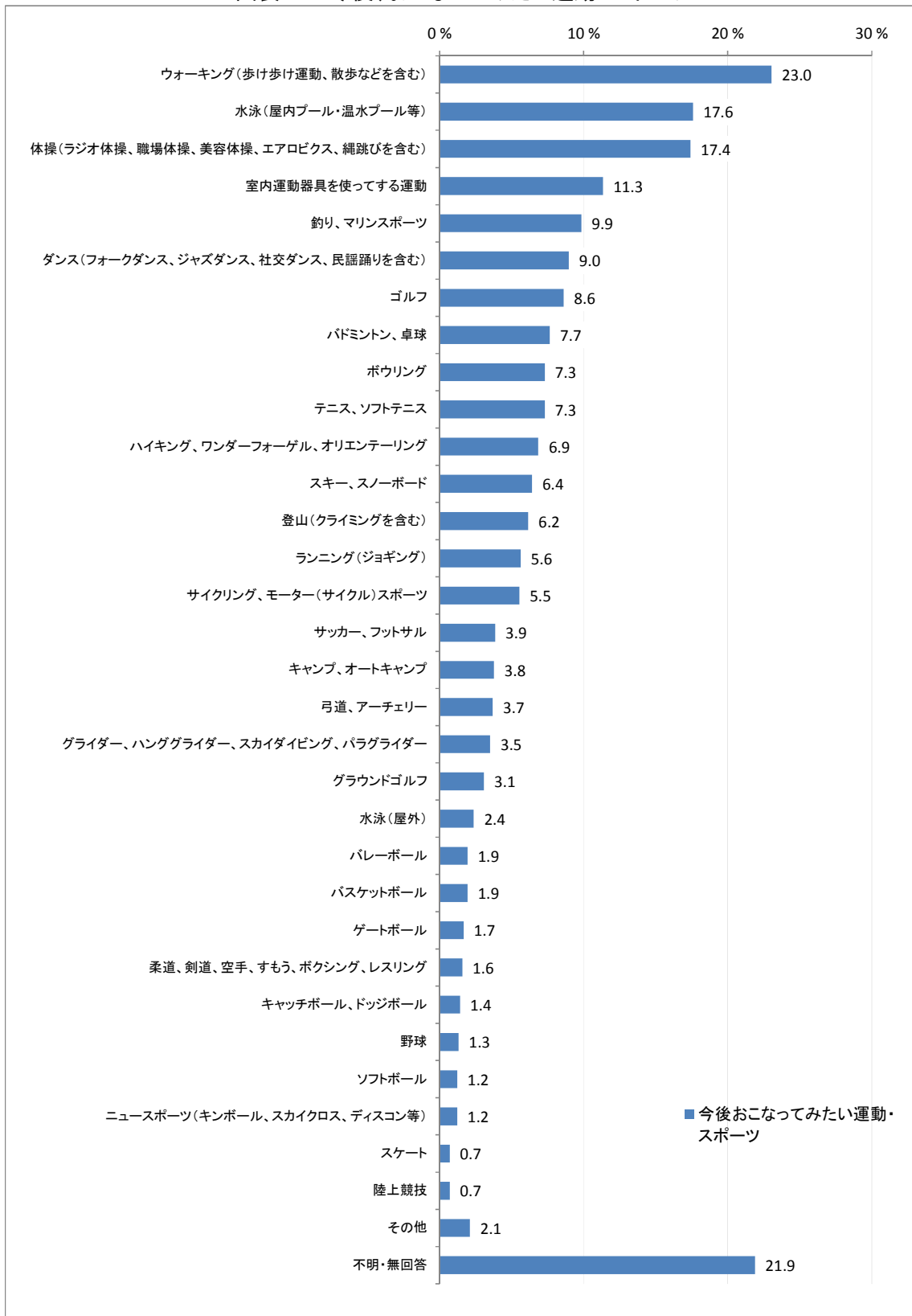
資料:和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査



和泉市民春季ファミリー歩こう会

今後、おこなってみたい運動・スポーツを尋ねたところ、「ウォーキング（歩け歩け運動、散歩などを含む）」が23.0%と最も多く、次いで「水泳（屋内プール・温水プール等）」17.6%、「体操（ラジオ体操、職場体操、美容体操、エアロビクス、縄跳びを含む）」17.4%の順となっています。

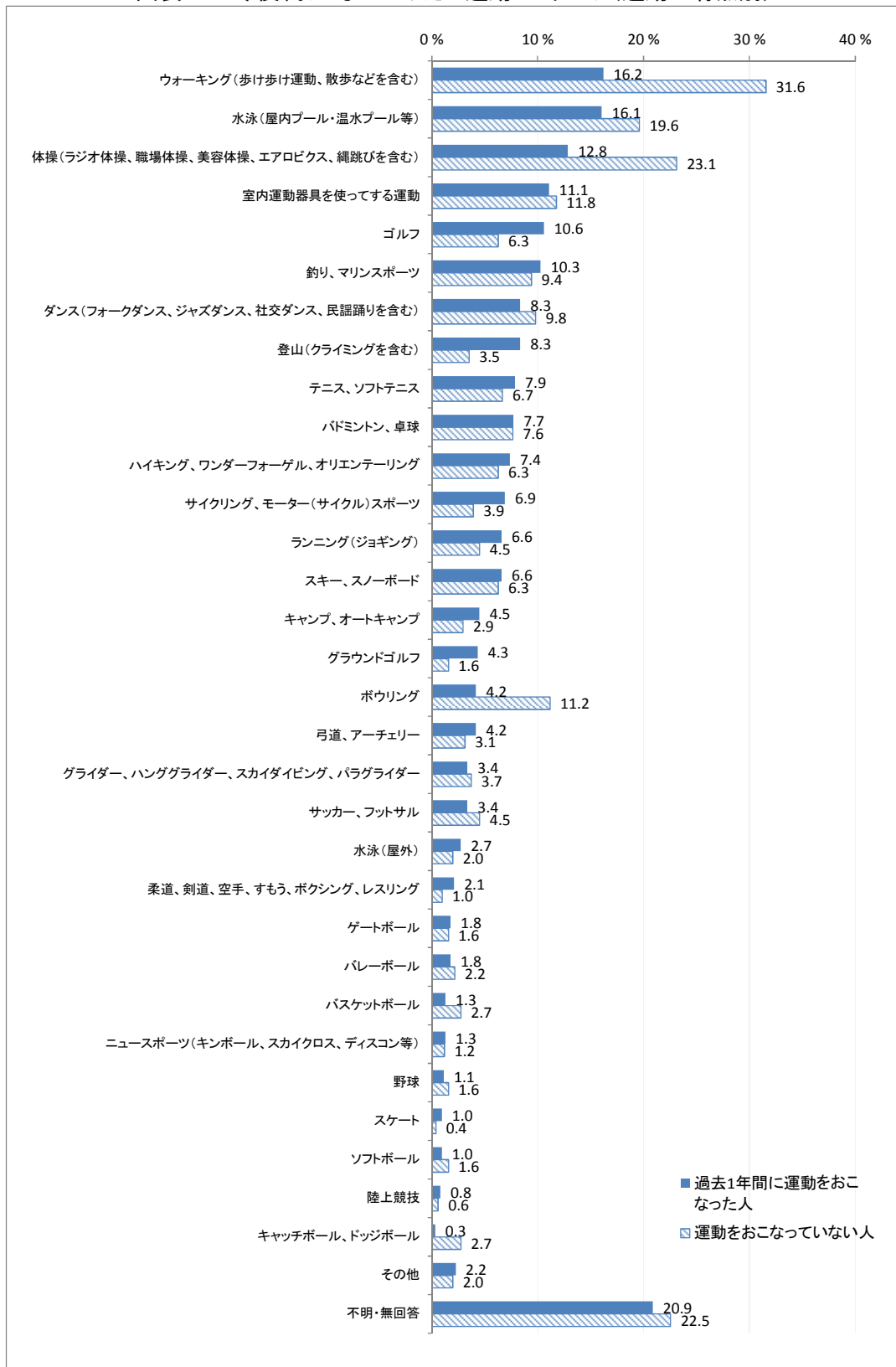
図表-13 今後、おこなってみたい運動・スポーツ



資料：和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査

過去1年間での運動の実施状況別にみると、運動をおこなっていない人は、運動をおこなった人と比較すると、「ウォーキング」や「体操」等気軽に始められる運動・スポーツへの関心が高いことが伺えます。

図表-14 今後、おこなってみたい運動・スポーツ(運動の有無別)



資料：和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査

年代別に、今後おこなってみたい運動・スポーツをみると、全体では「ウォーキング」が最も多くなっていますが、40歳代以下の年代では、「水泳（屋内プール・温水プール）」が最も多くなっています。

図表-15 今後、おこなってみたい運動・スポーツの順位

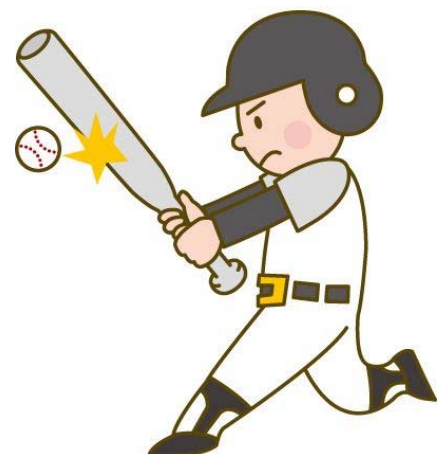
(単位:%)

年代	順位	第1位	第2位	第3位
全体		ウォーキング 23.0	水泳(屋内プール・温水プール) 17.6	体操 17.4
18～29歳		水泳(屋内プール・温水プール) 16.5	スキー、スノーボード 15.6	釣り、マリンスポーツ 14.7
30歳代		水泳(屋内プール・温水プール) 22.7	体操 19.5	釣り、マリンスポーツ 17.3
40歳代		水泳(屋内プール・温水プール) 24.3	体操 22.3	ウォーキング 21.3
50歳代		ウォーキング 30.3	体操 20.7	水泳(屋内プール・温水プール) 19.1
60歳代		ウォーキング 29.9	体操 17.2	水泳(屋内プール・温水プール) 14.9
70歳以上		ウォーキング 27.4	体操 12.8	室内運動器具を用いる運動 8.9

資料:和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査



和泉市キンボールスポーツ大会

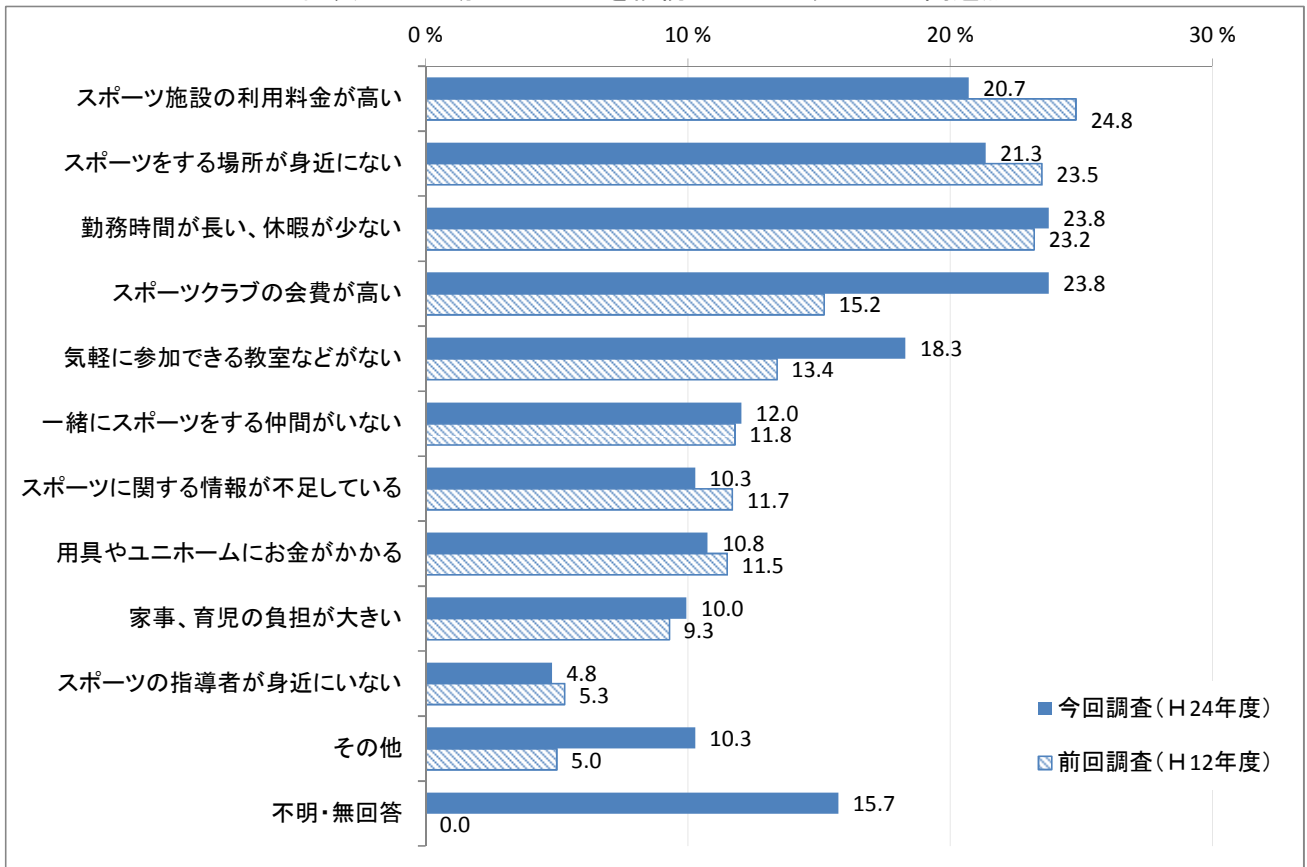


⑦運動やスポーツを継続しておこなうことでの問題点

運動・スポーツをおこなっている方に、今後、継続しておこなうことに対しての問題点を尋ねたところ、「勤務時間が長い、休暇が少ない」と「スポーツクラブの会費が高い」が23.8%と最も多く、次いで「スポーツをする場所が身近にない」21.3%、「スポーツ施設の利用料金が高い」20.7%の順となっています。

前回調査と比較すると、「スポーツをする場所が身近にない」と「スポーツ施設の利用料金が高い」が減少している一方、「スポーツクラブの会費が高い」と「気軽に参加できる教室などが無い」が増加しています。

図表-16 運動やスポーツを継続しておこなうことでの問題点



資料：和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査
前回調査(スポーツに関する市民意識調査)



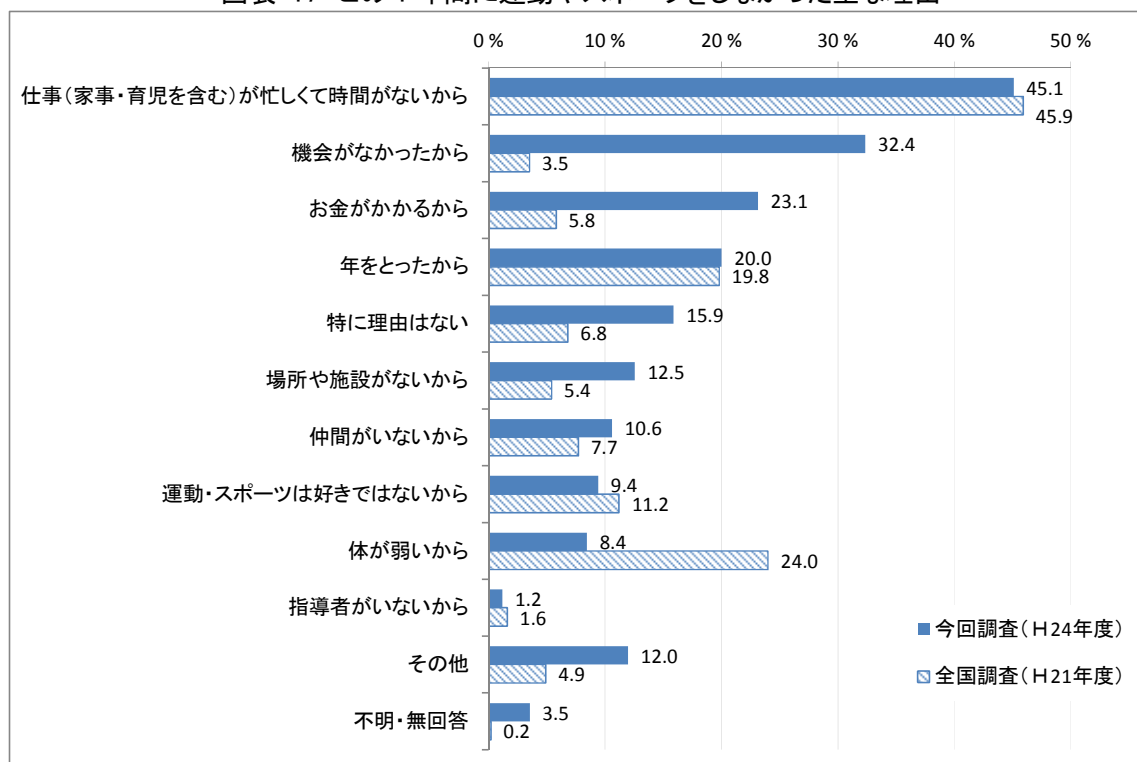
スポーツ推進委員指導者研修会

⑧この1年間に、運動やスポーツをしなかった主な理由

運動・スポーツをしなかった方に、理由を尋ねたところ、「仕事（家事・育児を含む）が忙しくて時間がないから」が45.1%と最も多く、次いで「機会がなかったから」32.4%、「お金がかかるから」23.1%の順となっています。

全国調査と比較すると、最も多い理由としては、「仕事（家事・育児を含む）が忙しくて時間がないから」が全国と同様の結果となっていますが、「機会がなかったから」と「お金がかかるから」は、全国より10%以上上回っています。

図表-17 この1年間に運動やスポーツをしなかった主な理由



資料：和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査
全国調査（体力・スポーツに関する世論調査）

⑨成人のスポーツ実施状況のまとめ

本市の成人の運動・スポーツの実施状況を見ると、12年前と比べて運動・スポーツを実施している人は減少していますが、週に1回以上運動している人や短時間の運動をしている人は増加しています。特に週に1回以上運動している人の割合は、全国平均を上回っています。運動する場所では、海や山などの自然の中で運動する人が減少し、施設で実施する人が増加傾向にあり、個人で活動する人が多くなっています。

実際に運動している種目では、ウォーキングや体操といった、気軽に一人でもできる運動・スポーツが多くなっており、今後おこなってみたい種目でも、運動をおこなっていない人を中心に人気が高くなっています。

また、50歳以下では、運動をおこなっている人、おこなっていない人の共通の問題点として、「仕事や家事・育児が忙しくて時間がない」「お金がかかるから」などが挙がっています。一方、おこなっていない理由としては「機会がなかったから」といった回答も多く挙がっています。

(2) 子ども

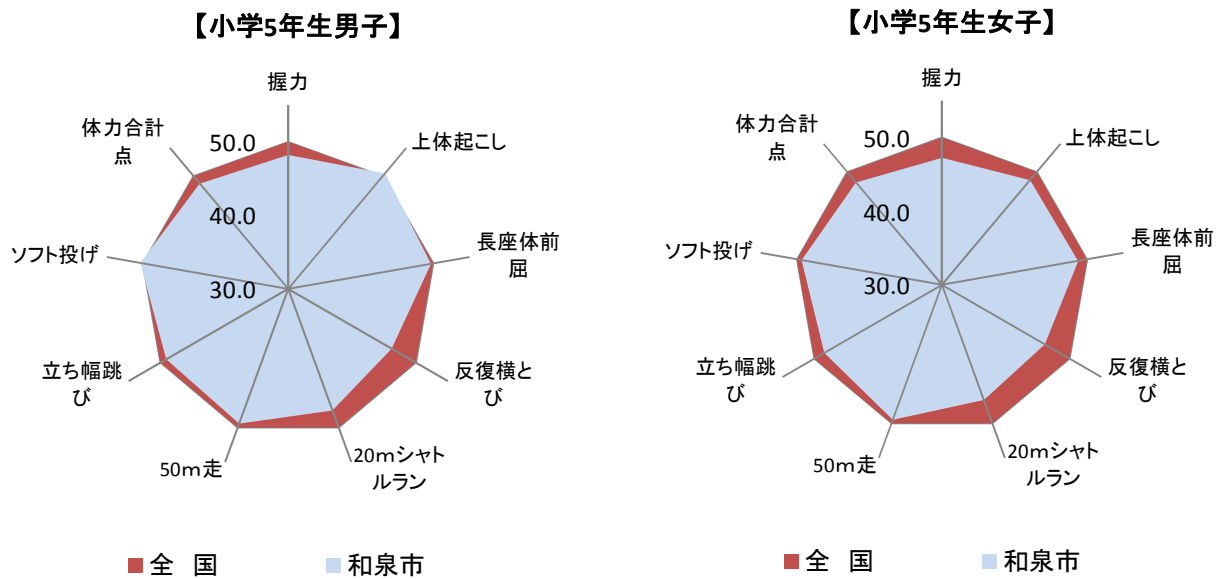
①新体カテストの結果について

平成 21 年度に実施された新体カテストの結果をみると、市内の小学生は、概ね全国平均を下回っておりますが、全国平均を上回っている種目が男子で2種目となっております。大阪府平均を上回っている種目が男子で4種目、女子2種目となっております。

図表-18 新体カテストの比較(平成 21 年度)小学 5 年生

	小学 5 年生男子			小学 5 年生女子		
	和泉市	大阪府	全国	和泉市	大阪府	全国
握力 (kg)	16.4	16.6	17.0	15.6	15.9	16.5
上体起こし (回)	19.3	19.0	19.1	17.1	17.1	17.6
長座体前屈 (cm)	32.5	32.4	32.7	35.7	36.1	36.6
反復横とび (回)	37.9	38.0	41.0	35.8	35.5	38.8
20m シャトルラン (回)	47.0	45.5	49.4	36.1	34.3	38.7
50m走 (秒)	9.5	9.4	9.4	9.7	9.7	9.6
立ち幅跳び (cm)	151.3	153.0	154.0	141.1	143.3	145.7
ソフト投げ (m)	25.6	25.3	25.4	14.7	14.7	14.9
体力合計点	52.8	52.9	54.2	52.8	52.8	54.8

資料:大阪府新体カテスト調査結果(大阪府教育委員会)



中学生では、全国平均を上回っている種目が男子で5種目となっております。大阪府平均を上回っている種目が男子で7種目、女子は、1種目となっております。



小学校水泳記録大会



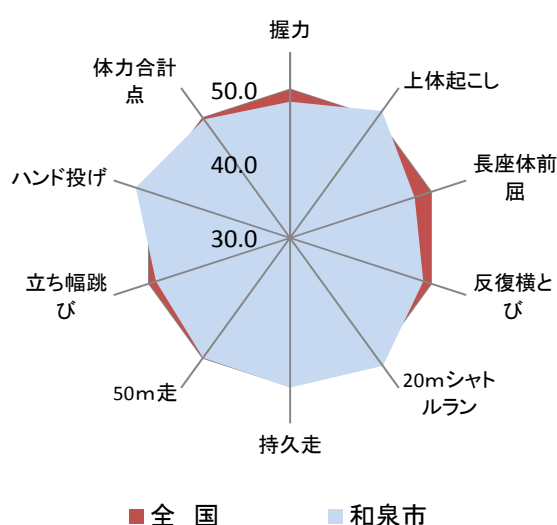
小学校陸上競技大会

図表-19 新体力テストの比較(平成 21 年度)中学 2 年生

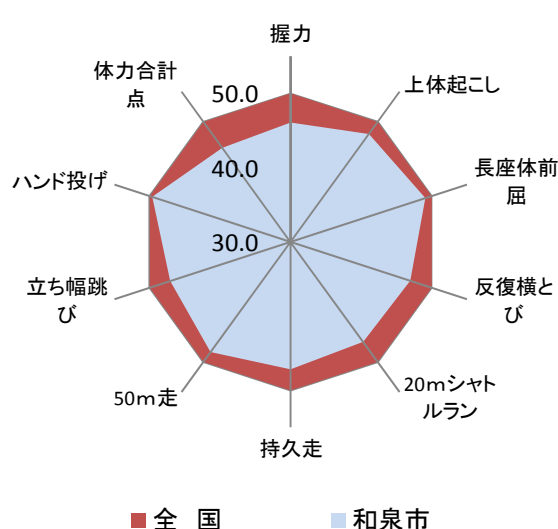
	中学 2 年生男子			中学 2 年生女子		
	和泉市	大阪府	全国	和泉市	大阪府	全国
握力 (kg)	29.1	29.2	30.1	22.3	23.6	24.2
上体起こし (回)	27.4	26.2	26.8	21.4	21.2	22.3
長座体前屈 (cm)	41.0	41.4	43.0	43.7	43.8	44.5
反復横とび (回)	49.4	48.6	50.5	41.9	42.5	44.6
20m シャトルラン (回)	85.7	78.8	83.5	52.7	52.7	56.5
1500m、1000m (秒)	394.2	407.8	395.7	310.2	305.2	292.6
50m走 (秒)	8.1	8.2	8.1	9.2	9.1	8.9
立ち幅跳び (cm)	191.5	190.7	195.3	156.9	162.7	166.7
ハンド投げ (m)	22.1	21.0	21.3	13.5	13.5	13.6
体力合計点	41.3	39.4	41.5	44.2	45.8	48.4

資料:大阪府新体力テスト調査結果(大阪府教育委員会)

【中学2年生男子】



【中学2年生女子】



②子どものスポーツ実施状況のまとめ

文部科学省がおこなっている「体力・運動能力調査」によると、子どもの体力・運動能力は、近年回復傾向にあります。子どもの体力のピークとされる昭和 60 年ごろと比較すると、依然として低い水準にあることや体力の高い子どもと低い子どもとの差の拡大が懸念されています。

そのような状況の中、特に本市においては、毎年夏休みに各小学校において水泳指導を実施し、全身運動である水泳の技能を伸ばすことで体力の向上に繋げています。また、自己の記録に挑戦する機会やフェアプレーの精神や態度を身に付けるため、和泉市立小学校水泳記録大会を実施し、平成 24 年度第 51 回大会では 1,528 名の児童が参加しました。

秋には 6 年生を対象に和泉市小学校陸上競技大会を実施し、50m走、50mハードル走、100m走、800m走、4×100mリレー、走り幅跳び、ソフトボール投げを男女別で実施しています。大会へ向けての練習などを通しスポーツの楽しさを児童が味わう機会となり、平成 24 年度第 50 回和泉市小学校陸上競技大会には 1,388 名の児童が参加しました。

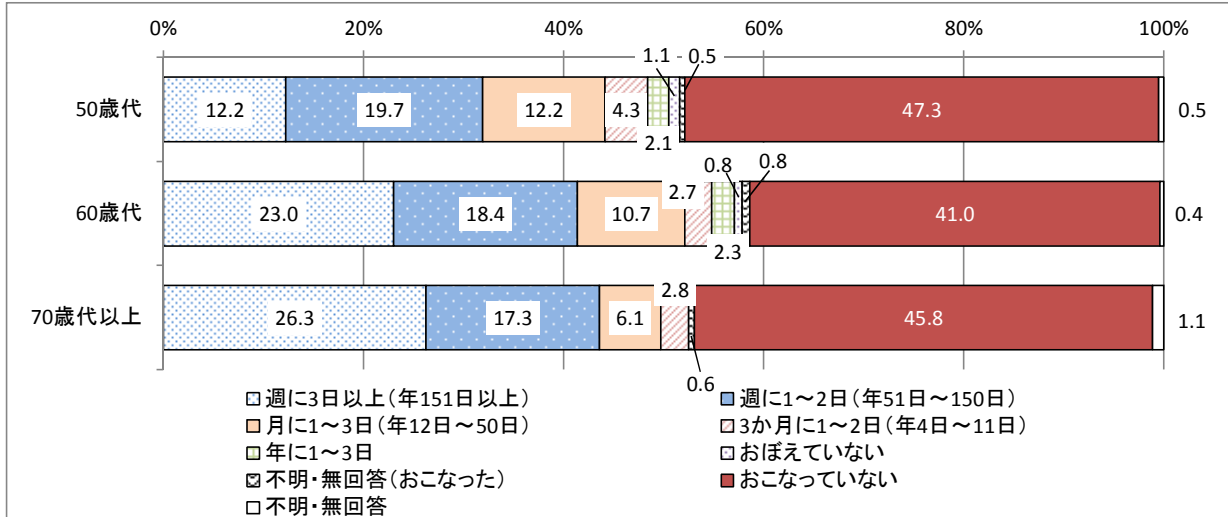
このような取り組みをおこなっていることが、中学生男子の体力テストの結果では、種目によって顕著な結果が出ていると推測されます。

(3) 高齢者

①高齢者の運動・スポーツの実施状況・実施理由

50歳代以上の人の運動・スポーツの実施状況をみると、実施した人は、60歳代が58.7%と最も多くなっています。また、70歳代以上では53.1%、50歳代では52.1%となっています。

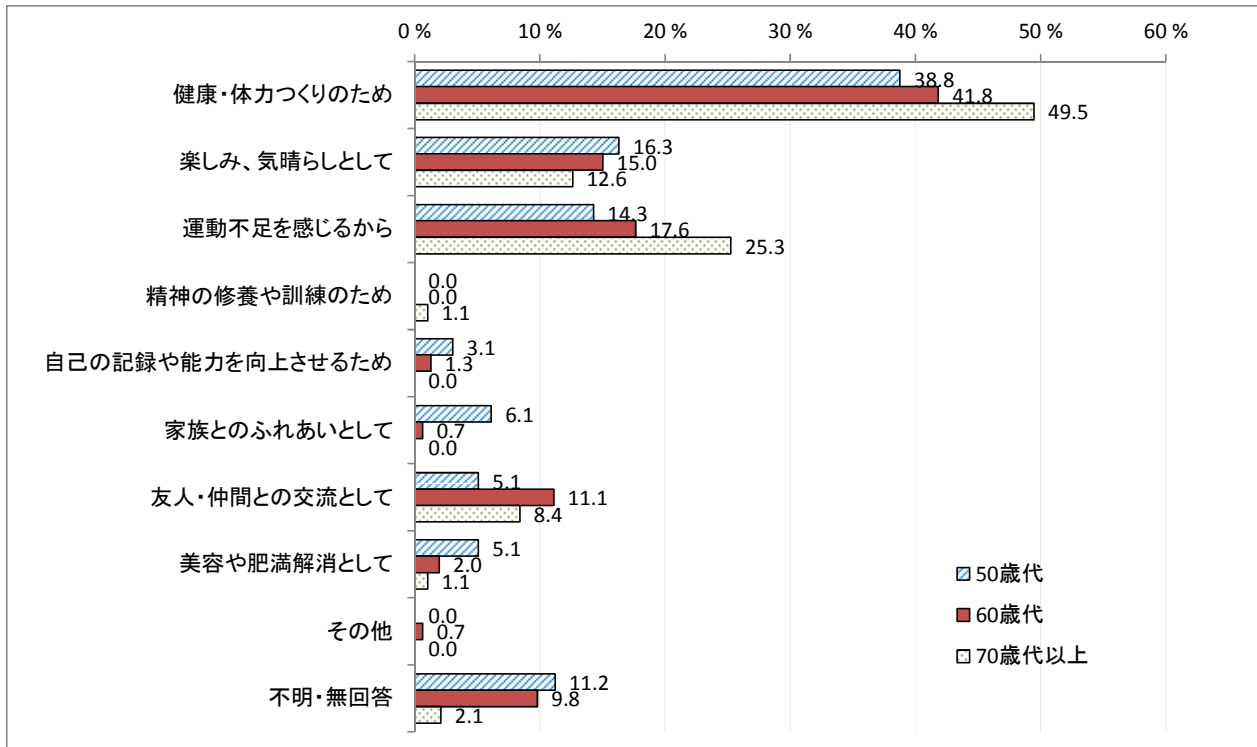
図表-20 50歳代以上の運動・スポーツの実施状況



資料:和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査

60歳代以上の人の運動・スポーツをする理由として、「健康・体力づくりのため」と「運動不足を感じるから」が50歳代より多い傾向となっています。

図表-21 50歳代以上の運動・スポーツをしている理由(運動・スポーツをおこなった人)



資料:和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査

②高齢者のスポーツ実施状況のまとめ

高齢者の運動・スポーツの実施状況を見ると、60歳代以上の人は50歳代より運動している人が多く、健康や体力づくりのために、積極的に運動を実施していることが伺えます。

また、「高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」の中で、高齢者の生きがい・安心のある暮らしの実現を図るため、地域におけるスポーツ活動や世代間交流事業の推進を図るとされており、現在、総合福祉会館等でも太極拳や体操教室など高齢者が参加しやすいスポーツ教室やイベントを実施しており、多くの市民が参加しています。



ふれあいニュースポーツ教室



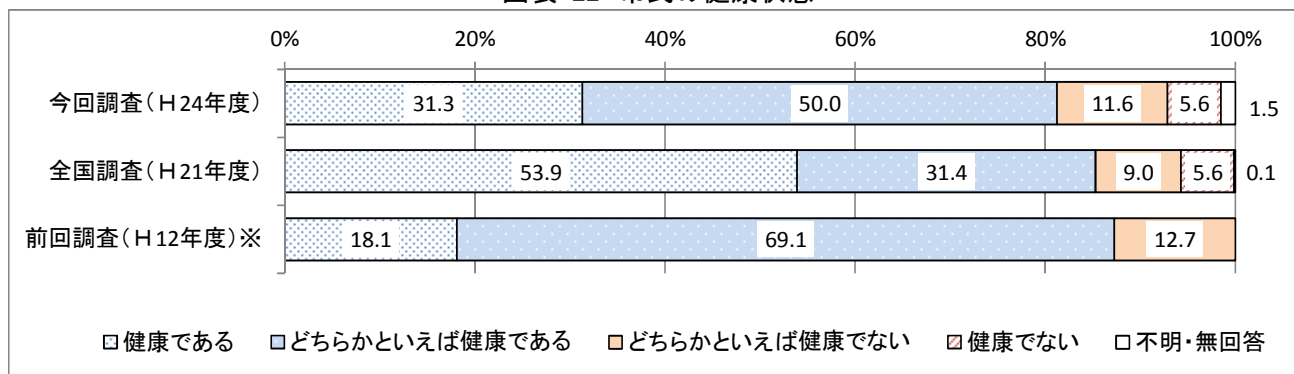
和泉市民春季ファミリー歩こう会

3.市民の健康状態や体力に関する意識について

(1) 市民の健康状態について

市民の健康状態は、「健康である」と「どちらかといえば健康である」を合わせた人は81.3%ですが、前回調査は87.2%で、健康であると考えている方は減少しています。また、全国調査は85.3%となっています。

図表-22 市民の健康状態

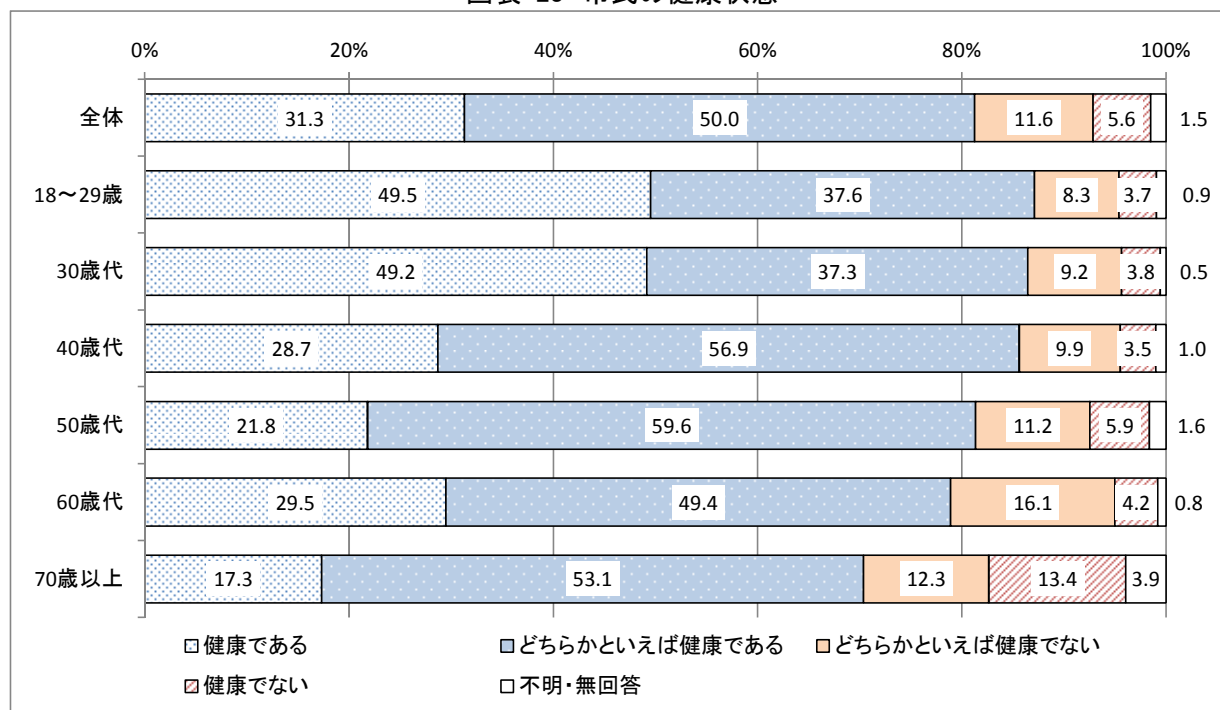


※前回調査の設問項目は、左から「非常に健康である」「まあ健康である」「あまり健康ではない」

資料：和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査
 前回調査(スポーツに関する市民意識調査)
 全国調査(体力・スポーツに関する世論調査)

年代別にみると、健康であると答えた人は、60歳代では78.9%、70歳代以上では70.4%となっています。

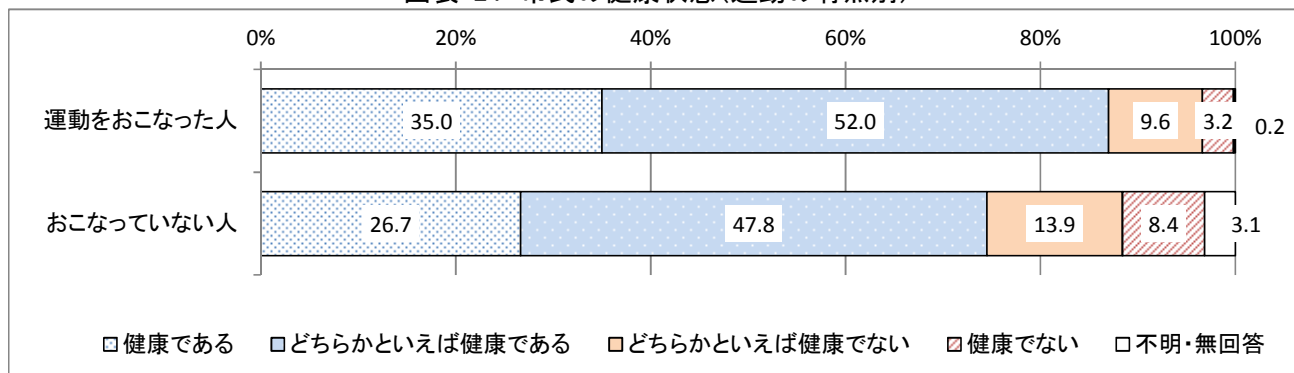
図表-23 市民の健康状態



資料：和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査

過去 1 年間で運動の実施状況別にみると、運動をおこなった人の「健康である」と「どちらかといえば健康である」を合わせた人は、87.0%となっており、おこなっていない人は 74.5%となっています。

図表-24 市民の健康状態(運動の有無別)

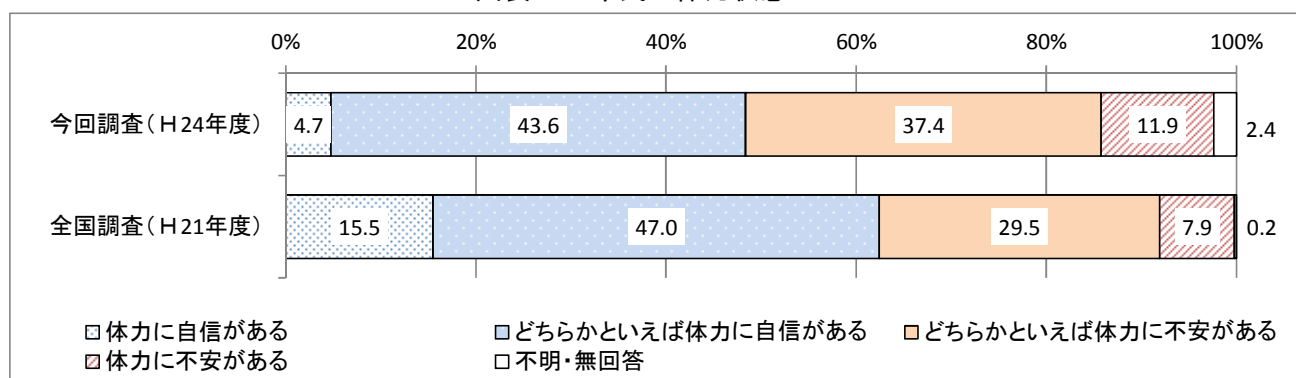


資料:和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査

(2) 市民の体力状態について

市民の体力状態は、「体力に自信がある」と「どちらかといえば体力に自信がある」を合わせた人は、48.3%となっており、「どちらかといえば体力に不安がある」と「体力に不安がある」を合わせた人(49.3%)を下回っています。全国調査では、「体力に自信がある」と「どちらかといえば体力に自信がある」を合わせた人は 62.5%で本市の 48.3%を大きく上回っています。

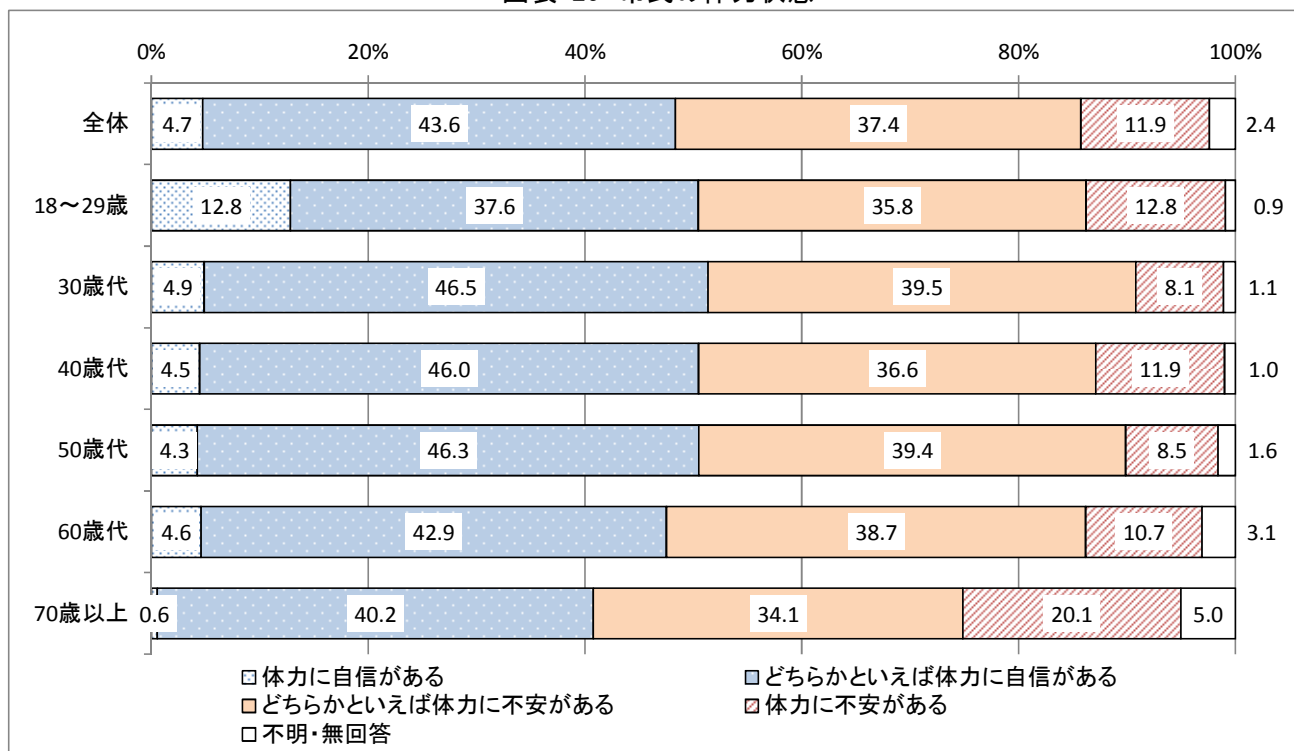
図表-25 市民の体力状態



資料:和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査
全国調査(体力・スポーツに関する世論調査)

年齢別で見ると、50歳代以下では、体力に自信があるが体力に不安があるを上回っていますが、60歳代以上では、体力に不安がある人が多くなっています。

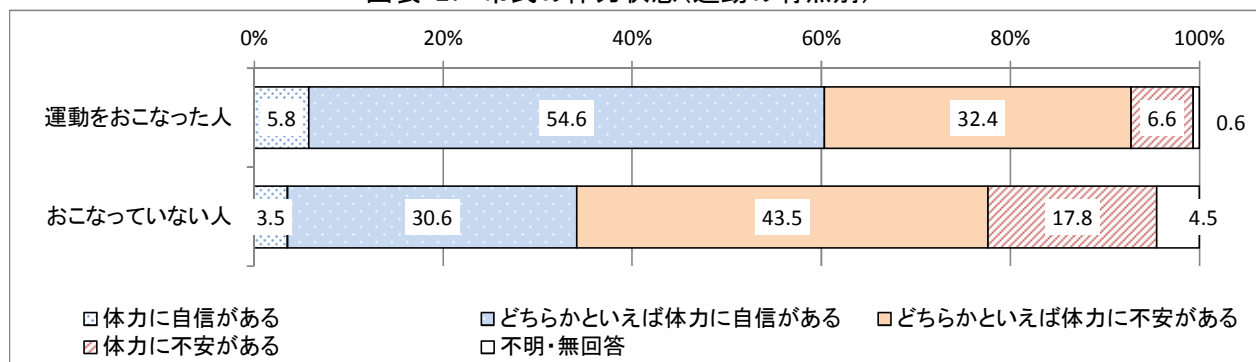
図表-26 市民の体力状態



資料：和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査

過去1年間での運動の実施状況別にみると、運動をおこなった人の「体力に自信がある」と「どちらかといえば体力に自信がある」を合わせた人は、60.4%となっており、おこなっていない人の34.1%を上回っています。

図表-27 市民の体力状態(運動の有無別)

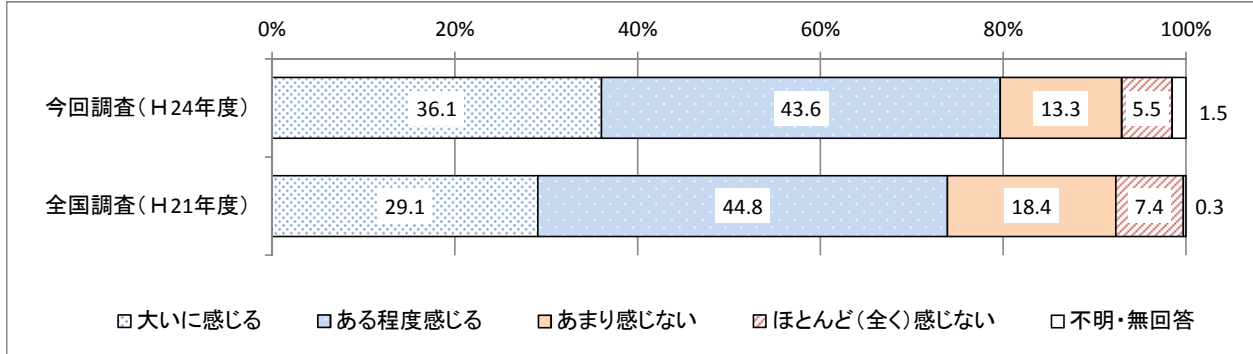


資料：和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査

(3) 運動不足を感じる割合について

普段、運動不足を感じるかどうか尋ねたところ、79.7%の人が多少の運動不足を感じており、全国調査の73.9%より多くなっています。

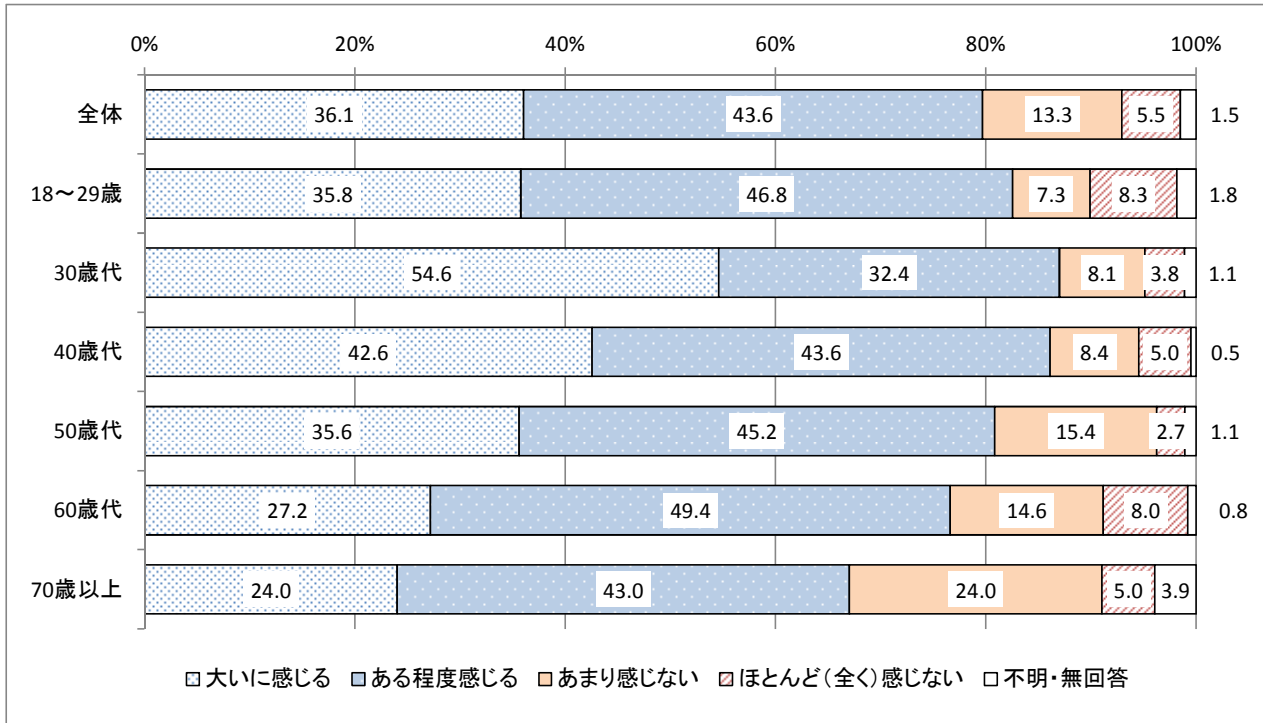
図表-28 運動不足を感じる割合



資料:和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査
全国調査(体力・スポーツに関する世論調査)

年代別でみると、特に30歳代・40歳代の方で運動不足を感じている人が多くなっています。

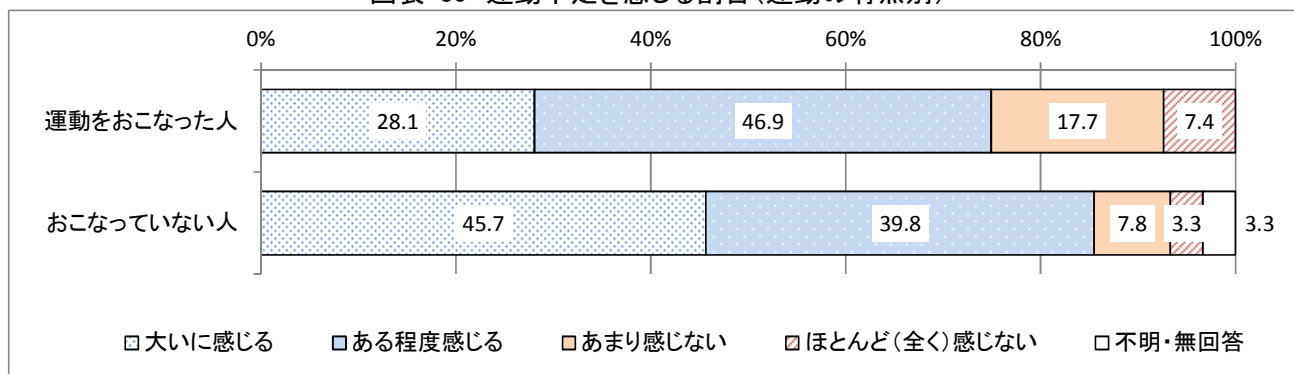
図表-29 運動不足を感じる割合



資料:和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査

過去1年間での運動の実施状況別にみると、運動をおこなっていない人の「大いに感じる」と「ある程度感じる」を合わせた人は、85.5%となっており、おこなった人の75.0%を上回っています。

図表-30 運動不足を感じる割合(運動の有無別)



資料:和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査

(4) 市民の健康状態や体力についてのまとめ

市民が健康と感じる意識、体力への自信、運動不足の意識は、全国調査より下回っており、健康と感じる割合では12年前よりも低下しています。しかしながら、全ての項目において、運動をおこなった人とおこなっていない人では、健康と感じる意識に開きがあり、運動やスポーツをおこなっている回答者は相対的に健康であると感じています。



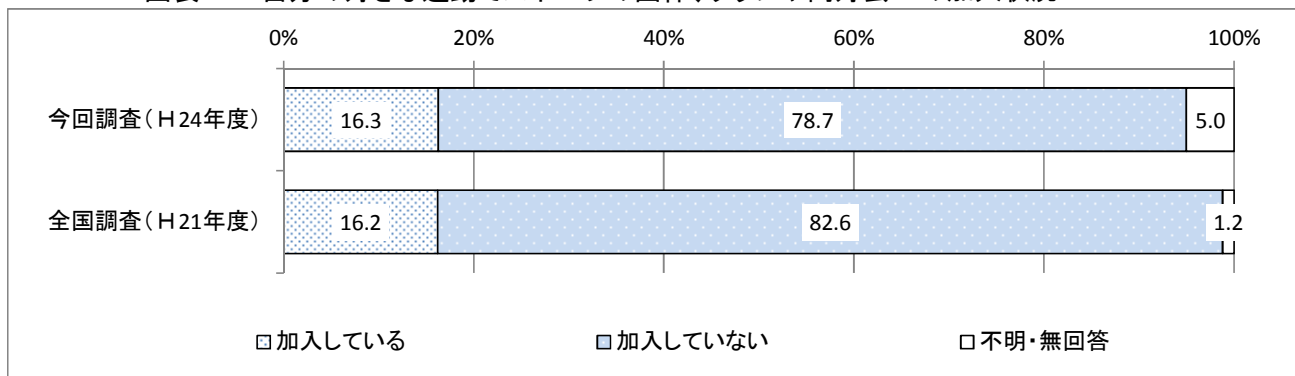
親子ふれあい体験乗馬

4.市内のスポーツ団体の状況

(1) スポーツ団体への加入状況

自分の好きな運動におけるスポーツの団体、クラブや同好会への加入状況は、16.3%の人が「加入している」となっており、全国調査（16.2%）と大きな差異は見られません。

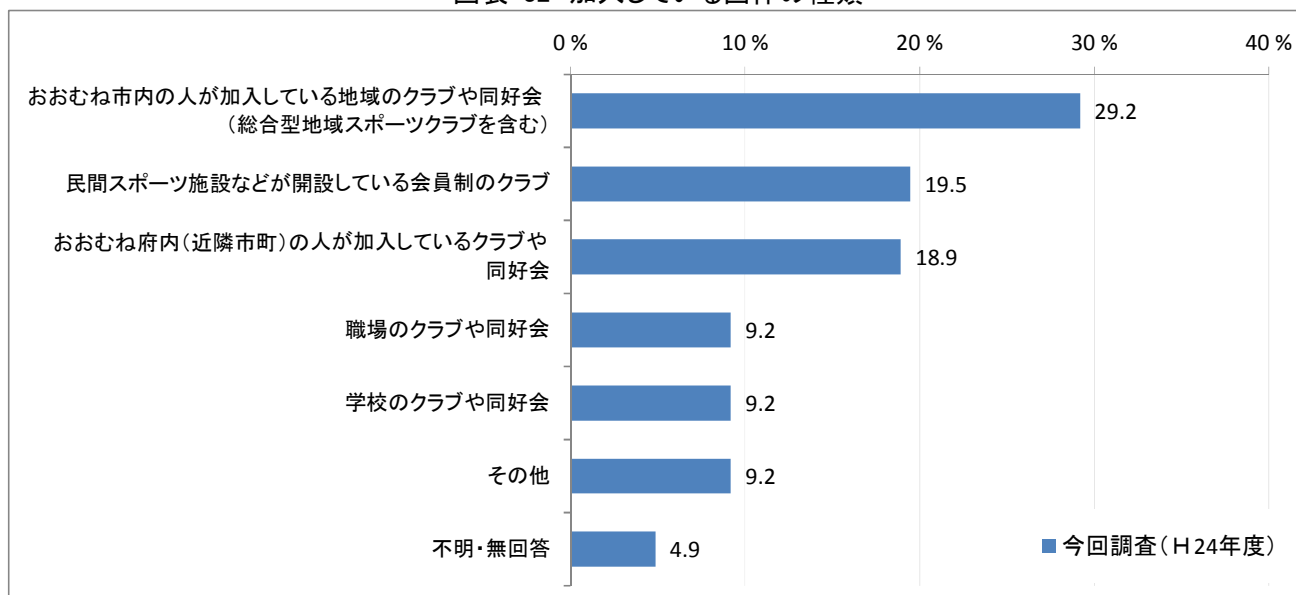
図表-31 自分の好きな運動でスポーツの団体、クラブや同好会への加入状況



資料：和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査
全国調査（体カ・スポーツに関する世論調査）

加入している団体の種類をみると、「おおむね市内の人が加入している地域のクラブや同好会（総合型地域スポーツクラブを含む）」が29.2%と最も多く、次いで「民間スポーツ施設などが開設している会員制のクラブ」19.5%、「おおむね府内（近隣市町）の人が加入しているクラブや同好会」18.9%の順となっています。

図表-32 加入している団体の種類



資料：和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査

(2) 和泉市体育協会

和泉市体育協会は、市内のスポーツ活動の推進やスポーツの普及・振興などを目的として設立され、種目別の大会を毎年開催し、平成 23 年度は各種市民大会を 60 回開催しています。現在、和泉市体育協会に加盟している連盟は 17 団体あります。

図表-33 和泉市体育協会の各連盟加入者総数の推移(人)

連盟	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度
連盟加入者数	11,714	12,438	10,490	10,845	10,538

資料:体育協会

図表-34 各連盟の加入者数(人)

	連盟	23 年度
1	陸上競技連盟	34
2	軟式野球連盟	3,281
3	バレーボール連盟	483
4	ソフトテニス連盟	112
5	バスケットボール連盟	415
6	卓球連盟	160
7	空手道連盟	214
8	柔道連盟	84
9	剣道連盟	275
10	ソフトボール連盟	705
11	バドミントン連盟	580
12	ゲートボール連盟	149
13	テニス連盟	1,516
14	サッカー連盟	1,250
15	少林寺拳法連盟	145
16	太極拳連盟	464
17	グラウンドゴルフ連盟	671
	合計	10,538

資料:体育協会



和泉市体育協会結団式

(3) 総合型地域スポーツクラブについて

本市には、平成 19 年 5 月に和泉市光明台中学校区を中心としたエリアに、総合型地域スポーツクラブ・大阪和泉光倶楽部が設立されました。「いつでも！どこでも！だれでも！いつまでも！」を目標に各自のニーズに応じて、スポーツ・文化活動を気軽に楽しみ、親しむことのできる『生涯スポーツ・文化社会』の実現をめざすということを目的で、地域住民を主体として運営されています。

大阪和泉光倶楽部では、ショートテニス、卓球、テニス、トータルスポーツ、健康づくり運動、ウォーキング教室といった活動をおこなっています。

(4) 市内のスポーツ団体についてのまとめ

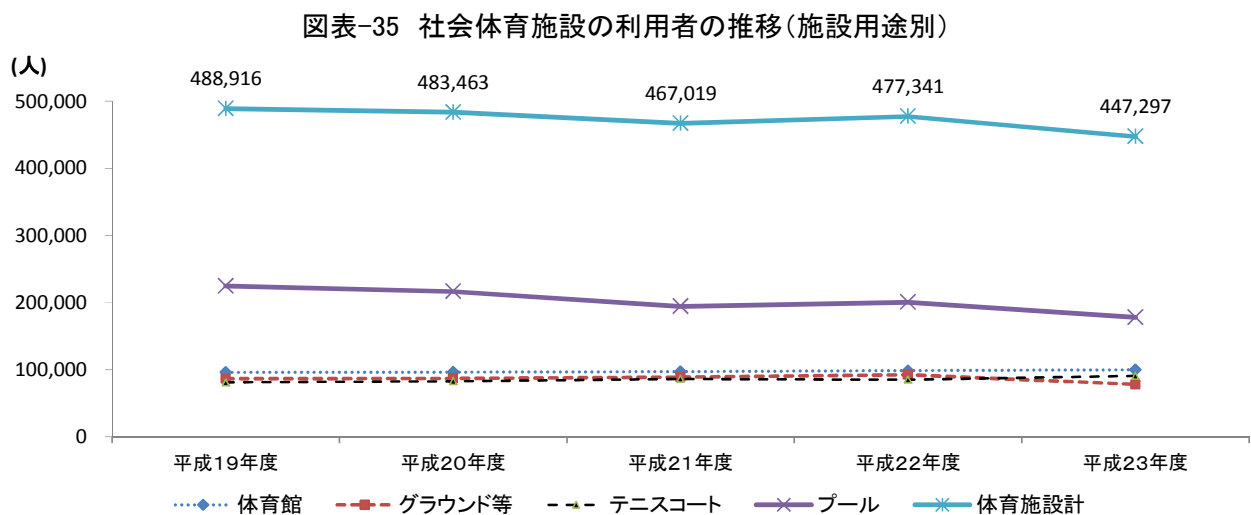
本市における、スポーツ団体の加入状況は全国と大きな差はなく、市民の 16.3% (約 3 万人) が何らかの団体に加入していることがわかります。和泉市体育協会の各連盟加入者総数が約 1 万人となっており、和泉市体育協会は、市民のスポーツ団体加入に大きく貢献しています。

5.市内のスポーツ施設の状況

(1) 社会体育施設の状況

本市の社会体育施設は、北西部地域に市民体育館、市民球場・多目的グラウンド、市立テニスコート、北部地域に温水プール（サン燦プール）、中部地域にコミュニティ体育館、光明池球技場、光明池緑地運動場があります。

施設の利用状況を平成19年度からの経年でみると、施設全体では減少傾向にあり、平成23年度は447,297人となっています。施設別でみると、体育館やテニスコートにおいては大きな増減はなく、約10万人程度で推移しており、プールは年々減少傾向にあります。原因としては、平成20年度に和泉中央駅、平成23年度に和泉府中駅前に民間のプール併設の大型スポーツ施設が開設されたことも考えられます。一方、グラウンド等の利用状況は、平成22年度までは増加傾向にありましたが、平成23年度は減少しました。

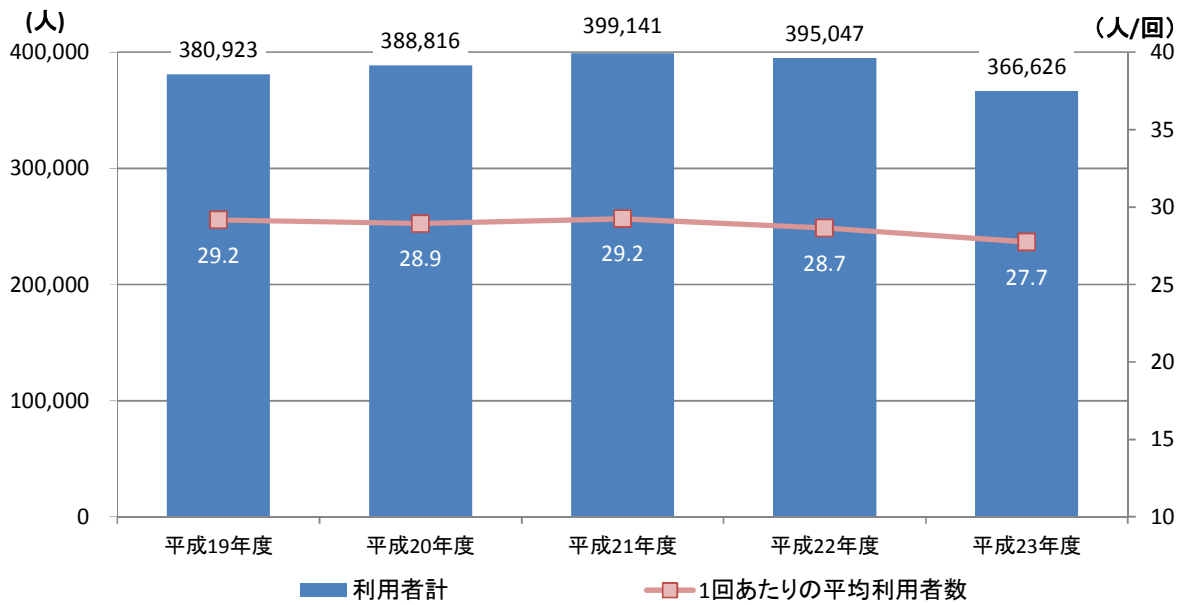


資料:スポーツ振興課

(2) 学校体育施設の開放利用状況

本市では、市内の小学校（21校）、中学校（10校）の運動場や体育館等を、学校教育に支障のない範囲で、地域のスポーツ活動のために開放しています。利用者数は、年間38万人前後で推移しており、平成23年度の利用者数は366,626人となっています。1回あたりの平均利用者数は減少傾向にあり、平成23年度は27.7人/回と平成19年度の29.2人/回より少なくなっています。

図表-36 学校施設の開放利用状況の推移

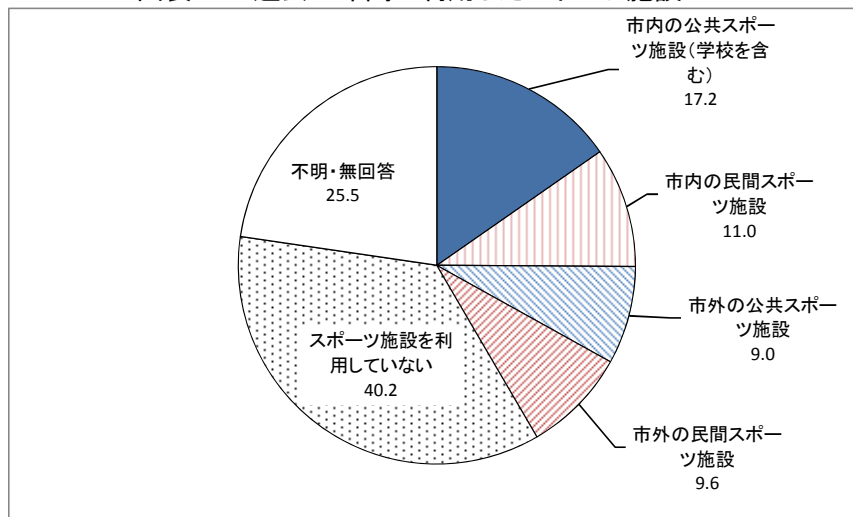


資料:スポーツ振興課

(3) スポーツ施設に対する市民の反応

過去1年間に運動・スポーツをするために利用したスポーツ施設を尋ねると、スポーツ施設を利用していない人を除き、最も利用が多かったのは、「市内の公共スポーツ施設(学校を含む)」で17.2%と最も多く、次いで「市内の民間スポーツ施設」11.0%、「市外の民間スポーツ施設」9.6%の順となっています。

図表-37 過去1年間に利用したスポーツ施設

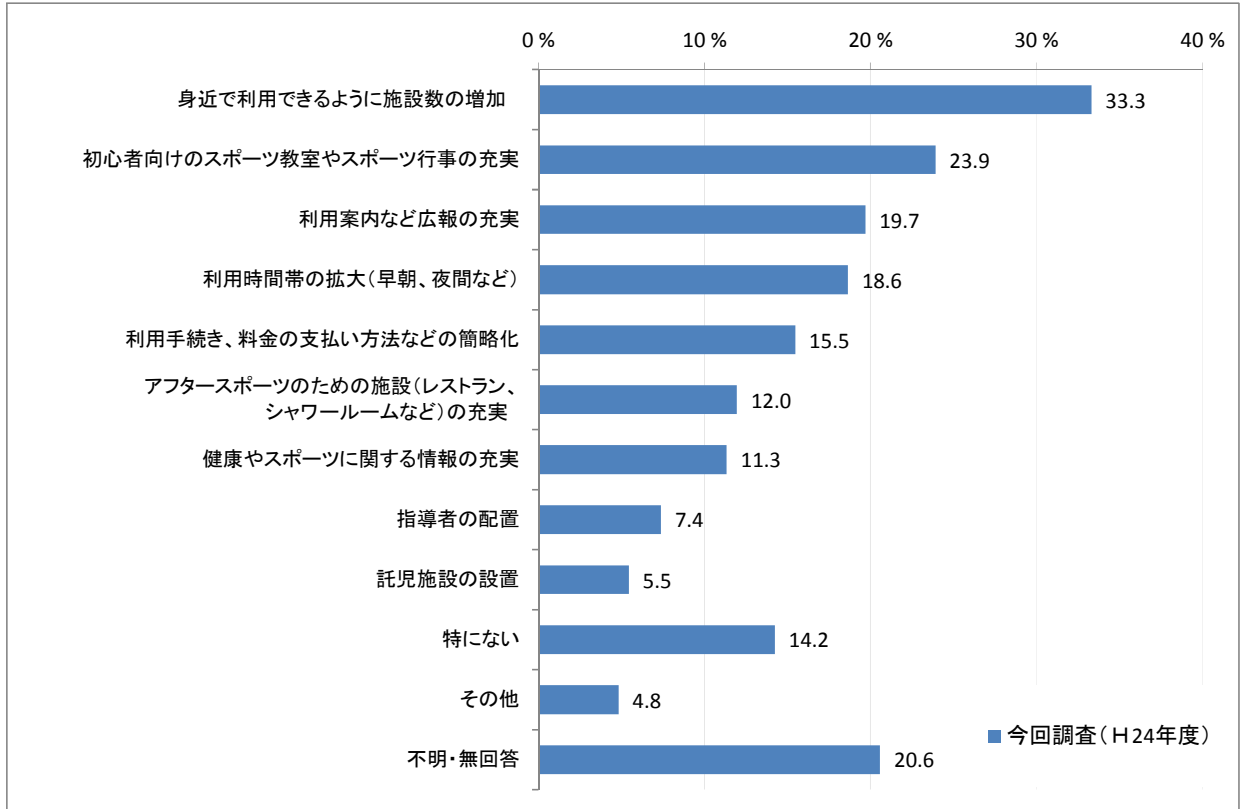


資料:和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査

また、市内の公共スポーツ施設に望むことを尋ねたところ、「身近で利用できるように施設数の増加」が33.3%と最も多く、次いで「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」23.9%、「利用案内など広報の充実」19.7%の順となっています。

一方、「特にない」と「不明・無回答」を合わせた人は34.8%となっています。

図表-38 市内の公共スポーツ施設に望むこと



資料:和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査

(4) 市内の民間スポーツクラブ・施設の状況

NTT iタウンページに掲載されている市内のスポーツクラブ・民間スポーツ施設等をみると、スポーツジムやフィットネスクラブ、ダンスホール・教室、テニスなどが多く、また、大型の総合スポーツクラブも2店舗あり、計36施設となっています。平成13年度が20施設(※バレエ教室やダンスホール等を除く)であったことを考えると、この10年間で大幅に増加していることが伺えます。

図表-39 民間スポーツクラブ・施設数

種別	数	場所
総合スポーツクラブ	2	府中町一丁目、いぶき野五丁目
複合スポーツ施設	1	伏屋町四丁目
スイミング教室	3	和気町二丁目、のぞみ野二丁目、寺田町一丁目
スポーツジム・フィットネスクラブ	8	府中町七丁目、井ノ口町、和気町一丁目、室堂町3箇所、寺田町一丁目、万町
ダンスホール・教室	7	府中町一丁目・二丁目、肥子町二丁目、和気町四丁目、のぞみ野三丁目、他
乗馬クラブ	1	池田下町
ボート・ヨットクラブ	1	富秋町二丁目
ゴルフ場	1	若樫町
ゴルフ練習場	2	箕形町五丁目、松尾寺町
テニス	4	肥子町二丁目、室堂町、平井町、浦田町
道場	2	黒鳥町四丁目、池田下町
ボクシングジム	1	室堂町
ボウリング場	1	和気町四丁目
サッカースクール	1	室堂町
釣り	1	槇尾山町
合計	36	

NTT iタウンページ、インターネット調べ(平成24年8月)

(5) 市内のスポーツ施設のまとめ

本市の公共スポーツ施設は、これまで北西部地域や中部地域に配置することに加え、地域のスポーツ団体などが身近に利用できる場所として、各学校体育施設の開放を行ってきました。しかしながら、近年では民間スポーツ施設やクラブの充実に伴い、利用者数は減少傾向にあります。

民間のスポーツ施設は、和泉中央駅の開設や和泉府中駅前再開発などにより、駅前を中心に大型施設が設置されたことや、人口増加に伴い、民間スポーツクラブが増加しています。

このように本市では、民間施設が多く設置される一方で、今後既存の公共スポーツ施設の適正な維持や、民間では提供できない総合的なスポーツ施設についての整備が求められています。



和泉市立市民体育館



和泉市立市民球場



市立テニスコート



光明池球技場Bグラウンド



温水プール（サン燦プール）トレーニングジム



光明池緑地運動場テニスコート

6.各種スポーツ教室や大会の状況

(1) 市が実施しているスポーツ・レクリエーション事業やスポーツ教室

本市では、「信太山クロスカントリー大会」や「和泉弥生ロマン・ツデーウォーク」などのイベントを実施しています。平成 23 年度は 1 年間で 73 回実施し、延べ参加者数は 9,537 人となっています。しかしながら、平成 13 年度と比較すると、参加者数は減少しています。

また、社会体育施設等では、様々なスポーツ教室を実施しており、平成 23 年度の開催回数は 7,312 回で、延べ参加者数は 115,760 人と 10 万人を超えています。教室に関しては、10 年前から大幅に開催回数が増え、参加者数も増加傾向にあります。

図表-40 市が実施している事業

種別	平成 13 年度		平成 23 年度	
	開催回数 (回)	参加者数 (人)	開催回数 (回)	参加者数 (人)
市主催・共催のスポーツ・レクリエーション関連事業	21	10,580	73	9,537
市が実施しているスポーツ教室等	3,441	59,414	7,312	115,760

スポーツ振興課等各課資料



和泉弥生ロマン・ツデーウォーク

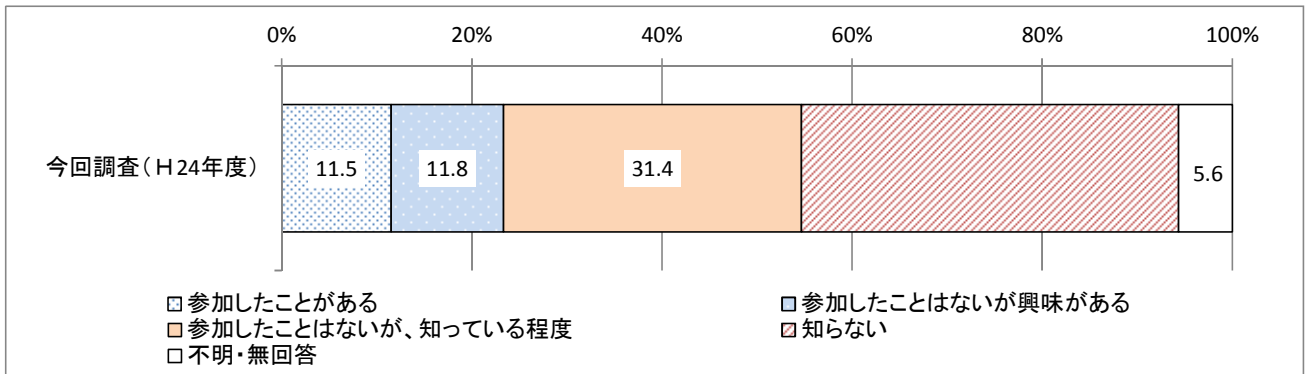


信太山クロスカントリー大会

(2) 市主催のスポーツイベントやスポーツ教室の参加状況

市内の公共施設で実施しているスポーツ教室の参加状況を尋ねたところ、「参加したことがある」が11.5%、「参加したことはないが興味がある」が11.8%となっており、参加或いは参加意向がある人は23.3%となっています。

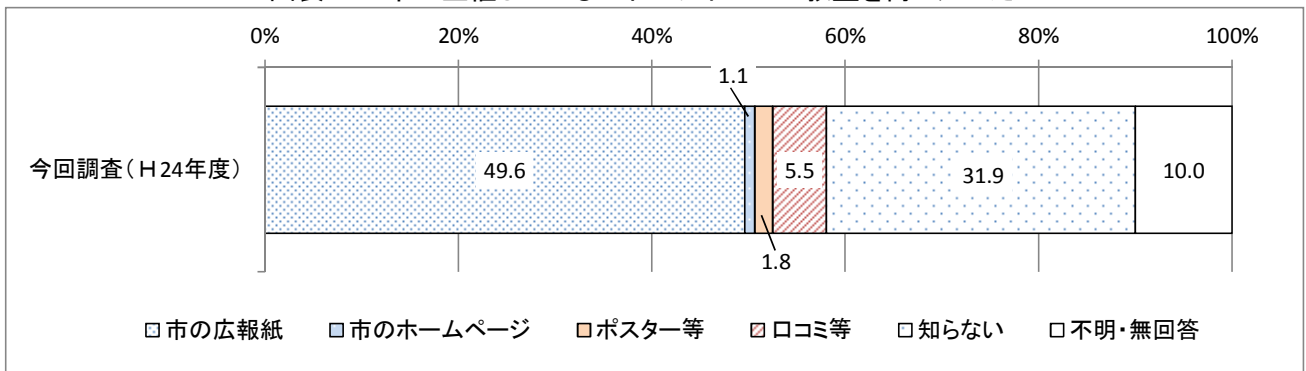
図表-41 市内の公共施設で実施しているスポーツ教室の参加状況



資料:和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査

また、市が主催しているスポーツイベントやスポーツ教室を何で知ったかを尋ねると、「市の広報紙」が49.6%と最も多くなっています。

図表-42 市が主催しているスポーツイベント・教室を何で知ったか



資料:和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査

(3) 各種スポーツ教室や大会の状況

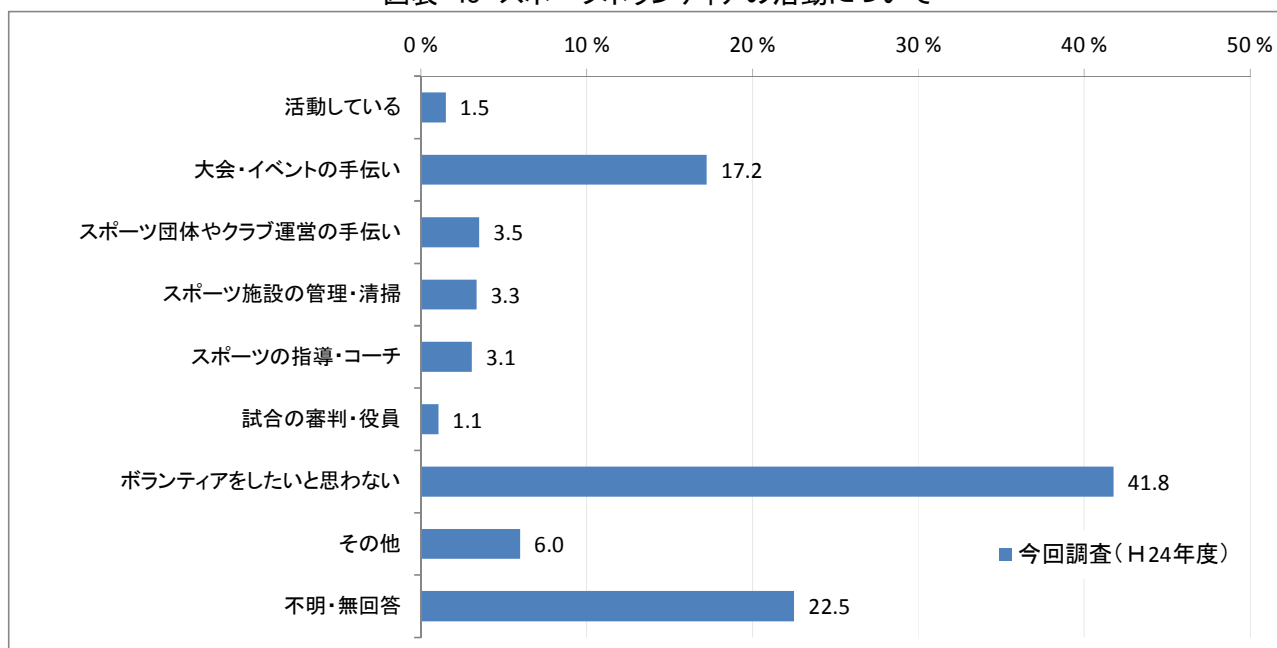
市が実施しているスポーツ・レクリエーション事業やスポーツ教室は、10年前から大幅に開催回数が増え、参加者数も増加傾向にあります。しかし、年齢層にあったスポーツの普及や初心者向けのスポーツ教室を望む回答者も多く、スポーツイベント・教室の充実が求められています。また、自由意見では広報紙の内容がわかりにくいという意見もあり、周知方法の工夫が必要であると考えられます。

7. ささえるスポーツの状況

(1) スポーツボランティアの活動について

今後、どのようなスポーツボランティア活動をしてよいか尋ねたところ、現在「活動している」と回答された方は、1.5%となっています。また、活動してもよいと考えている内容は、「大会・イベントの手伝い」が17.2%と最も多く、次いで「スポーツ団体やクラブ運営の手伝い」が3.5%の順となっており、活動してもよいと考えている人は28.2%となっています。

図表-43 スポーツボランティアの活動について



資料：和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査

(2) スポーツ推進委員について

本市では、昭和38年に体育指導委員に委嘱し49年が経過しています。平成23年8月に施行された、スポーツ基本法に基づき、「体育指導委員」から「スポーツ推進委員」へ名称が変更となりました。

スポーツ推進委員は、スポーツの実技指導とスポーツに関する指導・助言をおこなうため、市から委嘱され、市民と行政を結ぶスポーツコーディネーターとしての役割を担っています。

現在、本市では47名のスポーツ推進委員がそれぞれの地域で活躍しています。

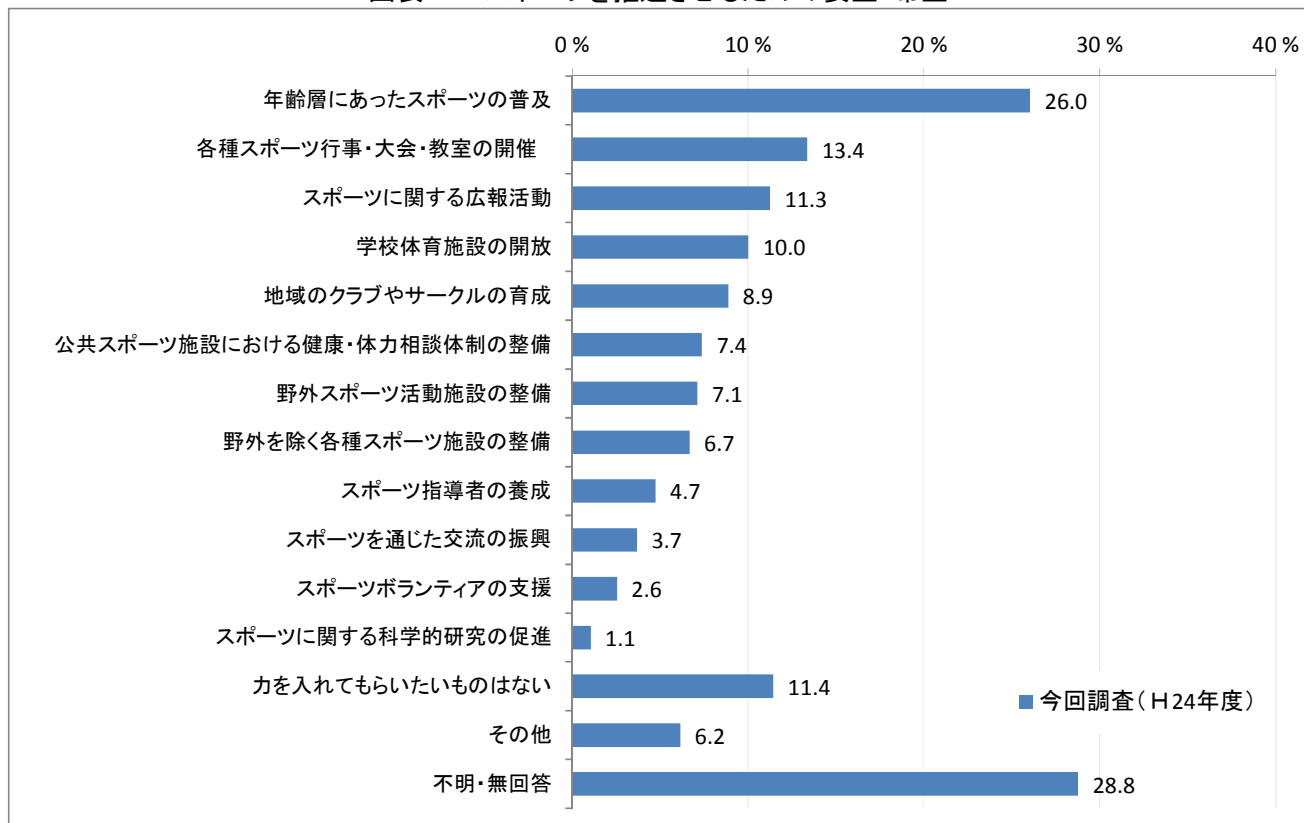
具体的な活動内容は、市実施の各種イベントの支援、ニュースポーツの普及活動、各種研修など、市のスポーツ推進に向けた取り組みを実施しています。

8.本市に望むスポーツ施策

(1) スポーツを推進させるための要望・希望

スポーツをもっと推進させるために、今後どのようなことに力を入れてもらいたいかなどを尋ねたところ、「年齢層にあったスポーツの普及」が26.0%と最も多く、次いで「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」13.4%、「スポーツに関する広報活動」11.3%の順となっています。

図表-44 スポーツを推進させるための要望・希望



資料：和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査



和泉市民秋季ファミリー歩こう会

(2) 市民が望む公共スポーツ施設

どのような施設があればよいか尋ねたところ、「公園施設（ジョギングやウォーキングコース等を備えた公園等）」が最も多くなっており、特に50歳以上の年代で多くなっています。

図表-45 市民が望む主な公共スポーツ施設

(単位:人)

分類	件数	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
公園施設(ジョギングやウォーキングコース等を備えた公園等)	31	2	1	5	7	10	6
プール(屋内・屋外分類不明)	23	1	6	12	2	2	
スポーツジム	20	3	7	5	3	2	
サッカーグラウンド、フットサル場	17	1	7	8		1	
屋内プール	14	1	3	3	4	2	1
テニスコート(屋内外)	13	2	2	3	1	3	1
多目的グラウンド・施設	12	1	5	2	2	2	
ヨガ教室	11	2	2	2	3	2	
総合施設・体育館	11	1	1	1	1	7	
サイクリングコース	9		3	1	1	4	
スケート場	6	1	3	2			
キャンプ場	5		2	1	2		
ゴルフ場・練習場	5	1	2	2			
公民館・集会所	5		1	1		1	2
屋外プール	5		4		1		

資料:和泉市スポーツ推進基本計画策定のための市民アンケート調査

(3) 本市に望むスポーツ施策のまとめ

市に望まれているスポーツ推進の要望・希望としては、年齢層に応じたスポーツの普及や気軽に利用できる施設や教室などが多く挙げられており、ライフスタイルに合わせた、誰もが気軽にスポーツに接することができる機会が求められています。

身近に利用できる施設の整備が最も多く、施設としては、公園施設が挙げられています。また、プール、スポーツジムやサッカーグラウンド、テニスコートの要望も多くなっています。

第3章 本市のスポーツ推進に向けた課題の整理

1. スポーツの実施率向上に向けた、ライフステージに応じたスポーツの啓発・きっかけづくり

市民の運動・スポーツ活動の実施率は、12年前と比較して減少していますが、週に1日以上定期的におこなっている人は増加しています。これは、定期的にスポーツをおこなえる環境を持って継続的に実施している人が増えているにも関わらず、きっかけや機会が無く、運動やスポーツを実施していない人も多いことが伺えます。

また、市民の健康状態や運動不足の自覚意識をみると、健康であると考えている人は12年前と比較して減少傾向にあり、約8割の市民が運動不足と感じています。

運動・スポーツをおこなう頻度を年代別に見ると、子育て世代でもある30歳代や働き盛りの40歳代・50歳代でのスポーツ実施頻度が低くなっている一方、60歳代以上では運動する人が多く、それぞれの年代でスポーツをおこなう頻度が異なっています。また、行政に求めるスポーツの要望においても、年齢層にあったスポーツの普及が最も多くなっています。

また、運動・スポーツを週に1回以上おこなっている人は34.1%となっています。文部科学省が策定したスポーツ基本計画においては、「成人の週1回以上のスポーツの実施率を65%程度に引き上げる」ことを目標としており、本市においても平成34年度までの目標とします。

こうした状況を踏まえ、ライフステージに応じた、誰もがスポーツに気軽に取り組めるきっかけや環境をつくることが求められています。

2. 子どもたちの体力・運動能力向上に向けたきっかけづくり

全国的に低下傾向の続いた子どもたちの体力・運動能力は、近年改善傾向にあるといわれていますが、昭和60年と比較すると低下しています。これは、ライフスタイルの変化やゲームの普及などにより、子どもが外で遊ぶことが少なくなったことが大きな原因であると考えられています。

このようなことから、子どもたちが外で遊びたくなるような、地域でスポーツを楽しめる環境づくり、幅広い指導者の育成などが求められています。

3. 高齢者や障がい者が気軽に運動・スポーツができる環境づくり

高齢者の運動・スポーツの実施状況をみると、60歳代は比較的多くの方が実施している状況となっていますが、70歳代以上では、健康状態や身体的な問題等により、おこなっていない人が増加しています。いつまでも健康で元気に生活するという観点からも、高齢者にも楽しみながらできるスポーツを実施することが求められています。

障がい者の運動・スポーツに関しては、障がいのある方が気軽にスポーツ活動ができるような、施設のバリアフリー化や障がい者スポーツの専門的知識を持った指導者の配置が求められています。

4.スポーツ施設の充実や運用方法の改善

運動・スポーツをおこなっている人で、実際にスポーツをおこなっている場所は、民間のスポーツ施設が多くなっており、公共のスポーツ施設の利用者数が減少しています。これは、民間スポーツ施設数の増加をみてもわかります。しかし、継続して運動をおこなう上での問題点として、スポーツクラブの会費が高い、スポーツ施設の利用料金が低いといった不満も多く挙がっています。また、公共のスポーツ施設に望むこととして、身近で利用できるように施設数の増加や初心者向けの教室・行事の充実が多く挙げられており、公共の利を活かした気軽に利用しやすいイベントや教室の充実が求められています。

5.総合型地域スポーツクラブをはじめ、地域でのスポーツ団体の活性化

市民のスポーツ団体への加入状況は、16.3%となっています。加入している団体では、市内での地域クラブが最も多くなっていますが、民間スポーツクラブの利用者も多くなっています。身近にスポーツを継続して実施する上で、地域でのクラブや同好会の活動促進が重要であると考えられます。このため、総合型地域スポーツクラブをはじめとした、地域での積極的なクラブやサークルづくりの取り組みが求められています。

6.スポーツボランティアの育成と活用機会の充実

市全域でのスポーツイベントや、地域でのスポーツ活動等をささえるスポーツとして、スポーツボランティアの拡大も重要となってきます。現在、活動されている方は極端に少なく、ボランティアをしたいと思わない人が41.8%もみられます。今後は、ボランティア活動の意義の啓発や参加したいと思っている市民が気軽に参加できる体制づくりそして活動情報の発信などが求められます。

7.スポーツに関する情報提供や発信力の強化

現在、市では様々なスポーツ教室やイベントなどを実施しており、スポーツ教室に関しては10年前と比較して飛躍的に開催回数も増加しています。しかしながら、公共のスポーツ施設に望むこととして、身近で利用できるように施設数の増加や初心者向けの教室や行事の充実が多く挙げられており、教室等への参加あるいは参加意向がある人も23.3%と多くはありません。今後は、現在の事業をより魅力的に、わかりやすく市民に発信することが求められています。

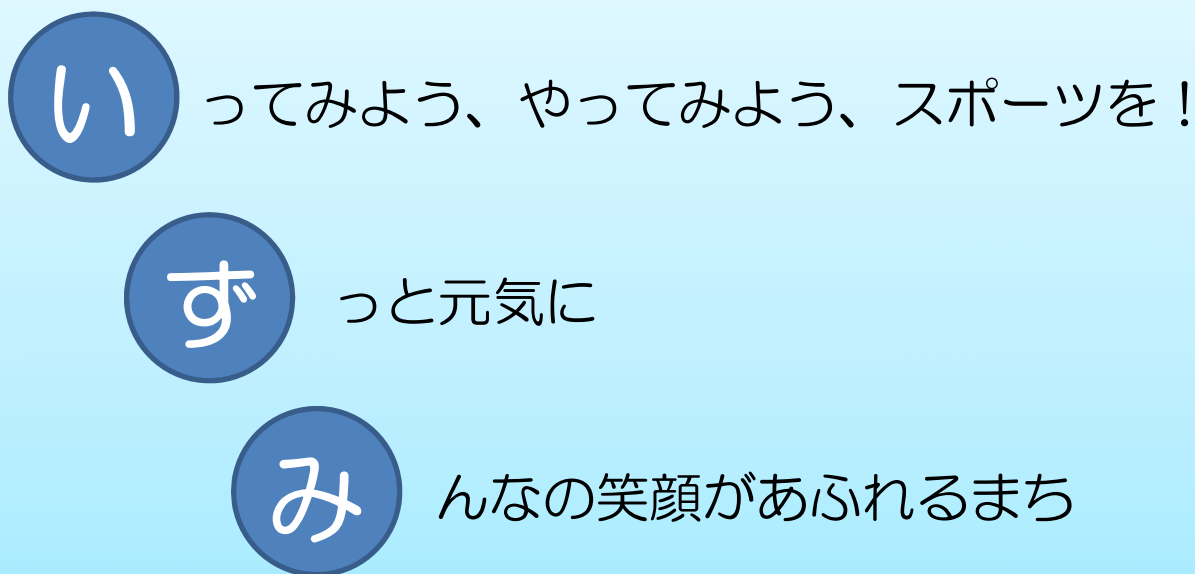
第4章 基本方針と目標

1.基本方針

近年においては、生活の利便性の向上やライフスタイルの変化による運動不足や健康や体力の低下、地域社会における人間関係の希薄化など、社会情勢は急激に変化しています。このような状況の中、国は平成24年3月に、スポーツ基本計画を策定しました。この計画では「スポーツを通じてすべての人々が幸福で豊かな生活を営むことができる社会」という定義のもと、青少年が健全に育つ社会、地域の人々が協働で結ばれた地域社会、健康で活力に満ちた長寿社会をつくることが提唱されています。

そこで、本計画においては、運動不足になりがちな子育て世代や働き盛り世代、体力の格差が顕著になってきている子ども、スポーツを通じていきがいや健康を育む高齢者や障がい者など、誰もが身近な場所で、運動やスポーツに親しみ、楽しみながら生涯を通じて取り組むことができる環境をつくるとともにスポーツをする側だけでなく、ボランティアや指導者・各種団体等の支える側の環境づくりをめざし、豊かなスポーツライフの実現に取り組んでいきます。

このような取り組みの中で、地域や学校・家庭・スポーツ団体が連携を深め、市民の誰もが身近にスポーツを楽しめる環境を整えるとともに、スポーツを通じた地域づくりをめざすため、「いってみよう、やってみよう、スポーツを！ ずっと元気に みんなの笑顔があふれるまち」をスローガンとして、計画を推進していきます。



2.基本目標

基本方針を実現するため、施策展開の方向性として3つの目標を掲げ、推進していきます。

(1) 誰もが気軽にスポーツができる環境の充実

誰もが気軽に、運動やスポーツを楽しみ、ライフステージに応じた多様なスポーツ活動の場や機会を充実させます。また、市民が気軽にスポーツを楽しめる環境を確保するため、公共施設の活用を促進するとともに、新たなスポーツ施設の整備に努めます。

(2) 競技スポーツとスポーツを通じた交流の振興

市民が誇りに思い、スポーツに対する関心や意欲を高める本市出身の選手やチームを育むため、競技スポーツの振興を図ります。また、市民が、地域で仲間たちとスポーツを通じて、地域の交流が活発になるようスポーツイベントやスポーツ大会を提案します。さらには、新たな総合型地域スポーツクラブの設立など、市民が一体となって参加・応援できる事業の推進を図っていきます。

(3) スポーツ活動を支援する仕組みづくり

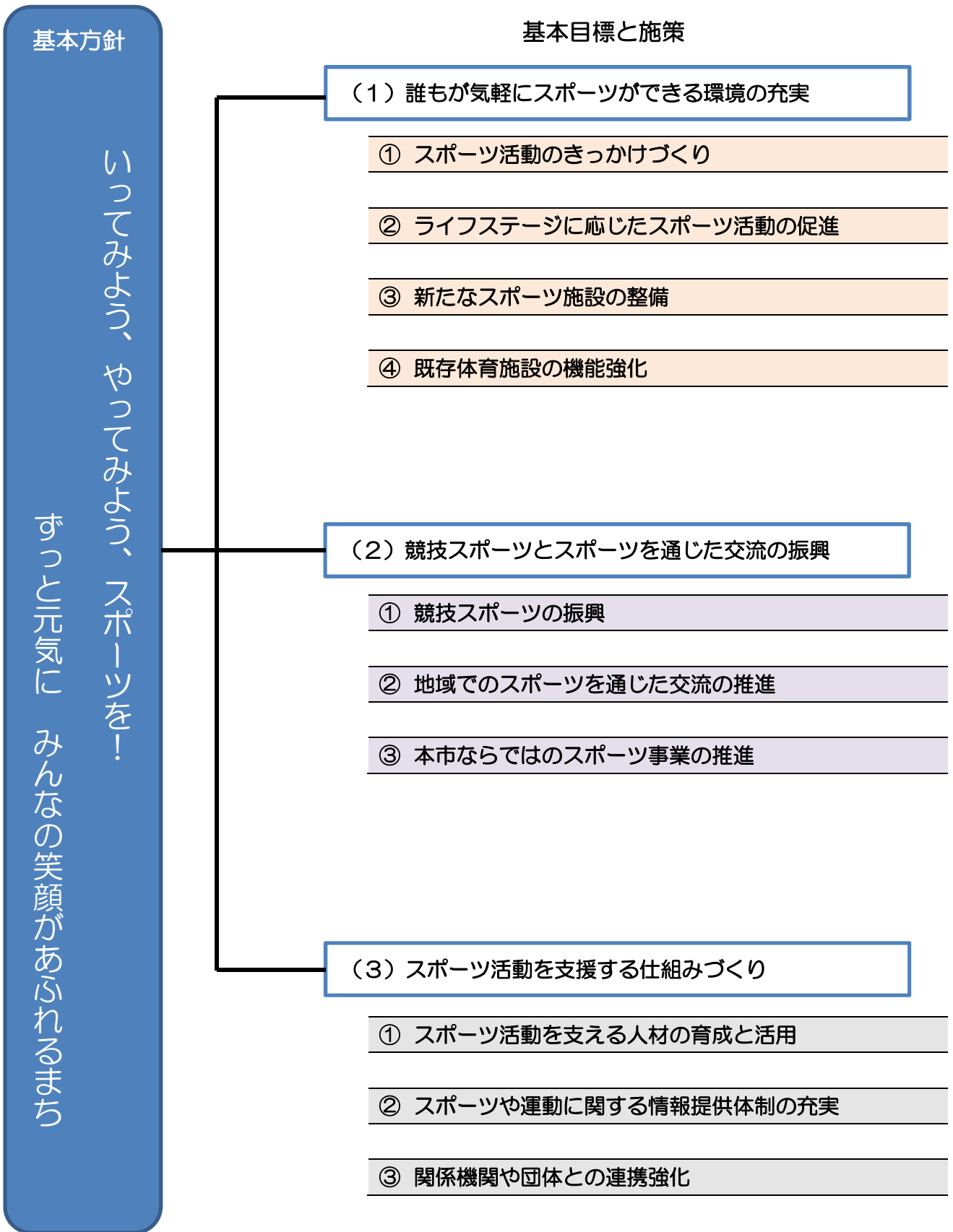
スポーツ活動を支える指導者登録制度の普及やスポーツボランティアなどの育成・支援など、多様なスポーツ活動へのニーズに対応します。また、スポーツ教室や大会・施設の案内など、スポーツに関連した情報発信力も強化し、市民の主体的なスポーツ活動を支える仕組みを整えます。



温水プール・スイミング教室



スポーツ塾・体操教室



4.数値目標

計画を推進する目安として、数値目標を定め、できる限り早期に目標を達成するため、施策を推進していきます。

数値目標1 誰もが気軽にスポーツができる環境の充実

	現状値 (H24)	目標値 (H34)
週に1回以上運動・スポーツをおこなう人(18歳以上)の割合	34.1%	65.0%

数値目標2 身近にスポーツを楽しめる施設環境の整備

	現状値 (H23)	目標値 (H34)
社会体育施設の利用者数	437,596人	700,000人

数値目標3 スポーツを通じた地域の絆づくり

	現状値 (H23)	目標値 (H34)
体育協会各連盟加入者総数	10,538人	15,000人



スポーツ推進委員指導者研修会



第 5 章 具体的施策の展開

1.誰もが気軽にスポーツができる環境の充実

本市では、週に 1 回以上運動やスポーツをしている人の割合は、34.1%となっており、国の示す目標値の 65%程度からは大きく下回っています。また、運動やスポーツをしない理由では、「仕事や家事・育児が忙しくて時間がない」「機会がなかったから」が多くなっています。

このようなことから、市民がスポーツを身近に感じ、気軽に参加できるようなきっかけづくりやライフステージに応じた活動の機会の充実を図ります。

また、市民がスポーツをおこなっている場所に関しては、民間のスポーツ施設が増加し、公共のスポーツ施設の利用者数は減少しています。しかし、公共のスポーツ施設に望むこととして、身近に利用できるように施設を整備し、初心者向けの教室や行事の充実が多く挙げられています。このため、公共と民間の役割（機能）分担を検討しつつ、公共施設においては、移転を予定としている市民球場の充実整備と元大阪府立横山高等学校跡地を活用した総合的なスポーツ施設の整備など、更なる市民ニーズに応じた施設の整備に努めます。

(1) スポーツ活動のきっかけづくり

I.誰もが参加できるスポーツイベントの実施、充実 **拡充**

ウォーキングや体操など、年齢を問わず、初心者でも気軽に参加しやすいスポーツイベントや教室を企画します。

II.親子で参加できるスポーツイベントの開催 **拡充**

幼児からスポーツに親しむ機会を増やすため、親子で参加できるスポーツイベントや教室を企画します。

III.市内ウォーキングマップの拡充 **拡充**

「てくてくウォーキングマップ（平成 19 年改訂）」に、市内をくまなくどこからでもウォーキングができるよう新コースを追加し、距離や所要時間を表示して無理なく始められる運動へのきっかけを提供します。

IV.市民スポーツ大会への支援 **継続**

競技としてのスポーツと、交流のためのスポーツを兼ね備えたスポーツ大会を体育協会等が開催しています。スポーツ推進と市民のスポーツ活動への参加の促進への契機となっているスポーツ大会については今後も支援をしていきます。

V. ニュースポーツの普及 **拡充**

ニュースポーツは、幼児から高齢者まで楽しめるスポーツです。親子や孫とも楽しみながらおこなうスポーツとして、今後もニュースポーツの普及に努めます。



ふれあいニュースポーツ教室



和泉市キンボールスポーツ大会

VI. スポーツ体験教室・初心者向け教室の充実 **拡充**

ヨガ教室やいきいき体操、ニュースポーツについては、誰でも参加できるように短期の体験教室や講習会を企画し、体験を通じたスポーツの普及に努めます。また、初心者の方でも気軽に参加できる初心者向けの教室も企画します。

VII. スポーツイベントの充実 **拡充**

現在実施している信太山クロスカントリー大会や歩こう会のほかに、市民体力測定会や施設の無料開放や講演会などを検討し、スポーツの楽しさを広げる活動を推進します。

(2) ライフステージに応じたスポーツ活動の促進

① 子ども

I. 子ども向けスポーツ教室の増設 **拡充**

子どもの心身の健やかな成長に資するため、単一の競技だけでなく、様々なスポーツを体験できる教室を企画し、子どもが生涯続けられるスポーツに出会う場をより多く提供します。



スポーツ墊・体操教室

II.学校や地域との連携 **継続**

青少年健全育成は、スポーツ等の活動を通じて、地域での支えあいが必要です。そこで、学校と地域とが連携した、地域のスポーツ活動の充実を図ります。

III.スポーツ少年団の育成 **継続**

スポーツ活動を通じた青少年の心身の健全な発達、子どものスポーツの普及、他地域チームとの交流による強化を目的としたスポーツ少年団の活動を、引き続き支援していきます。

②成人

IV.仕事や家事・育児で忙しい人が参加しやすい教室の検討 **新規**

仕事や家事・育児等で忙しくて、運動やスポーツをする機会の少ない人が参加しやすいスポーツイベントや教室を企画し、スポーツを始める機会づくりに努めます。

③高齢者

V.高齢者向けスポーツ教室の開催 **拡充**

スポーツを通じて、健康づくりや生きがいづくりができるように、高齢者が気軽に参加できるスポーツイベントや教室を各種団体と連携して実施できるように努めます。



ふれあいニュースポーツ教室

④障がい者

VI.障がい者スポーツの啓発・普及 **継続**

障がい者が、いつでもどこでも気軽にスポーツに親しめるよう、職員や各施設スタッフ等に、障がい者スポーツへの理解と普及のための講習や研修を企画します。

(3) 新たなスポーツ施設の整備

市民ニーズへの対応や現在不足している運動施設の設置に向け、信太山丘陵にスポーツ・レクリエーション拠点施設を計画し事業用地を取得していましたが、当該地は自然環境が豊富で希少野生生物も多く存在することから、計画をスポーツ・レクリエーション施設から自然環境の保全と活用へと方針を変更しました。このため、今後当該計画に代わるスポーツ施設の整備が求められています。

そこで、今後必要となる施設は、サッカーが可能な多目的グラウンドの新設や現在の市民球場では対応できない硬式野球が可能な野球場の整備が求められますが、これらの整備に関しては、現在市有地となっている元大阪府立横山高等学校跡地の活用や、移転予定となっている市民球場の充実整備により機能確保を図ります。

I. スポーツ施設の整備 **継続**

市民ニーズに応じて、新たなスポーツ施設の整備を図ります。

II. 元大阪府立横山高等学校の整備 **新規**

大阪府から取得した元大阪府立横山高等学校を、本市のスポーツの拠点の一つとして整備します。



元大阪府立横山高等学校（正門）



（グラウンド）

(4) 既存体育施設の機能強化

I. 公共スポーツ施設の効率的な運営 **継続**

市内には、体育館やテニスコート、温水プール、グラウンド等様々なスポーツ施設がありますが、利用しやすい利用体系、利用料金、利用時間の改善に努めます。

Ⅱ.市民ニーズに応じた施設整備 **拡充**

利用者の要望を考慮した施設の見直しを進めます。また、手すりやスロープの設置等誰もが利用しやすい、ユニバーサルデザインの考え方に沿った改善を進めるとともに、体育施設の性質上、利用種目を制限していますが、利用種目の増加に向けての、施設の改修や改善に取り組み、施設の有効活用を図ります。



コミュニティ体育館

Ⅲ.施設間の連携システムの構築 **新規**

市内には、社会体育施設のほか、和泉シティプラザ等でも様々なスポーツ教室が開催されており、同様の種目の教室も多く、公共施設においてスポーツ教室を案内するなど、利用者にとってわかりやすいシステムを構築します。

Ⅳ.学校体育施設の効率的な管理・運営 **継続**

スポーツを通じた児童の健全育成や、地域住民の健康維持のため、運動場や体育館などの学校体育施設が、PTAや地域団体にとって気軽に利用できる仕組みづくりを検討し、身近な場所で市民のスポーツ活動の機会の確保を図ります。



和泉市民秋季ファミリー歩こう会

2.競技スポーツとスポーツを通じた交流の振興

本市出身の選手やチームの全国大会・国際大会への出場は、市民にとって誇りであり、スポーツへの関心や意欲を高める機運となるため、市民が気軽に取り組める生涯スポーツの推進と同時に、高い技術の習得などをめざした競技スポーツを支援します。

また、スポーツや運動には、お互いの連帯感を産む作用があり、地域の絆を深めるためにも、地域や学校、スポーツ団体、自治会が連携をとり、市民がスポーツを通じて交流ができる場づくりが必要です。これまで子ども会を中心としておこなっていた地域のスポーツ活動を、子どもからお年寄りまでの様々な年代や今まで参加していなかった方が参加したくなる、スポーツ活動やコミュニティ活動を活発にすれば、スポーツ人口の増加や地域の絆も深まります。

こうした活動の場の拠点となるのは、総合型地域スポーツクラブであり、新たな設立を図っていく必要があります。

そこで、地域でのスポーツを通じたつながりづくりや総合型地域スポーツクラブの充実、さらには、市民が一体となって、参加・応援できる、本市ならではのスポーツ事業の推進を図っていきます。

(1) 競技スポーツの振興

I.競技スポーツの育成支援 **継続**

地域で活動しているスポーツ団体の安定した活動や競技レベルの向上につながる、組織力の強化や組織間の連携強化といった取り組みを、和泉市体育協会と連携して支援を図ります。

II.スポーツ指導者の養成 **継続**

指導者のレベル向上のため、質の高いトレーニング法や研修方法等の講習会の開催に努めます。

III.プロリーグや社会人リーグの試合の観戦機会の創出 **新規**

プロや社会人といったレベルの高い試合を見る機会をつくり、市民のスポーツへの関心を高め、レベルの向上に努めます。

IV.トップアスリートとの出会い（スポーツ教室や講演会） **新規**

トップアスリートなどを招いた、講演会やスポーツ教室を企画し、市民と競技者がふれあい、夢や希望を与える機会を創出します。

V.スポーツ功労者の褒賞 **継続**

引き続き、スポーツで優秀な成績を収めた人を褒賞し、競技者の励みとなるように努めます。

(2) 地域でのスポーツを通じた交流の推進

I.スポーツ推進委員による地域スポーツ活動の推進 **継続**

地域によって異なるニーズに応じたスポーツ活動や教室などを、スポーツ推進委員が中心となって実施できるように、今後も連携していきます。

II.総合型地域スポーツクラブへの育成支援 **拡充**

現在、市内1中学校区で設置されている総合型地域スポーツクラブを、今後は中学校区ごとに設立できるように支援を行います。

(3) 本市ならではのスポーツ事業の推進

I.本市発祥のニュースポーツの開発 **新規**

関係機関等との連携により、本市独自のニュースポーツを開発し、市内での普及活動に努め、新たなスポーツ人口の増加をめざします。

3.スポーツ活動を支援する仕組みづくり

市民が、スポーツを継続的にこなうためには、適切な指導者や教室や大会を運営するボランティアなどの人材も重要となってきます。また、市民がスポーツに関心を持ち、参加を促す情報提供体制の構築も非常に重要になってきます。

そのため、スポーツ活動を支える人材の育成や連携の強化、情報提供体制の充実、さらに関係機関や団体との連携を強化し、市民が広く参加できる事業の充実を図っていきます。

(1) スポーツ活動を支える人材の育成や連携の強化

I.スポーツ活動を支える人材（人材バンク） **拡充**

スポーツ経験者や健康に関する知識を持った人が人材バンクに登録していただくことで、スポーツ教室やイベントの際に講師やアドバイザーとして活用できます。生涯学習人材データバンクへの登録を推奨します。

II.スポーツイベントへの参加促進（スポーツボランティア） **新規**

支えるスポーツとして重要なのがスポーツボランティアです。今後は市主催のイベントや大会などで、定期的な活動機会を創出します。また、和泉市体育協会やスポーツ推進委員と連携した幅広い活動の場を提供するなど、スポーツイベントへのボランティア参加の促進を図ります。

(2) スポーツや運動に関する情報提供体制の充実

I.情報提供の充実 **拡充**

現在、本市のホームページでは、スポーツ施設や各種スポーツイベントや教室の情報を提供しています。今後も市民にわかりやすい内容に努め、関連施設で一元化した情報の提供に努めます。

(3) 関係機関や団体との連携強化

I.応援サポーターの推進 **新規**

スポーツイベントの告知や各種教室の案内などのポスターやパンフレットを、店舗等に設置していただける民間サポーターを募り、スポーツを推進する団体・個人の輪を広げます。

II.大学との連携 **継続**

スポーツや運動に興味がある学生や大学研究室と連携し、地域スポーツ推進の観点から、スポーツの普及や地域のスポーツイベントの開催を連携しておこなっていきます。

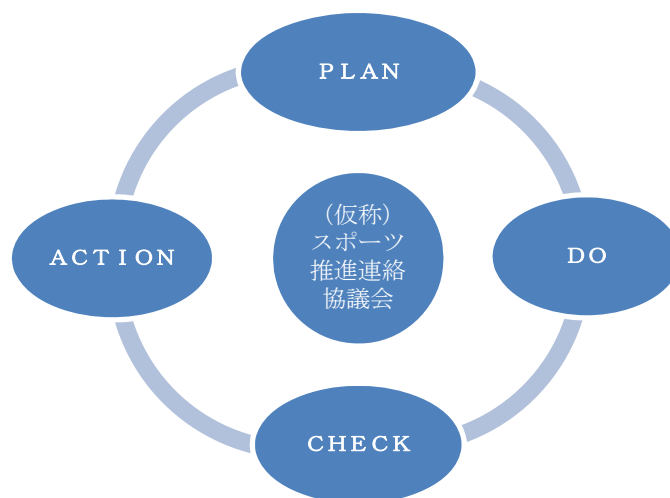
III.民間団体との連携 **新規**

民間のスポーツ施設や人材を、市民が有効活用できるような協力要請を検討していきます。

第6章 計画の推進体制

市民の運動・スポーツ活動、健康・体力づくりを目的とした事業は、行政や関係団体等でも実施しています。そこで、関係団体等の連携を進めることで、より効果的・効率的にスポーツの振興を推進します。

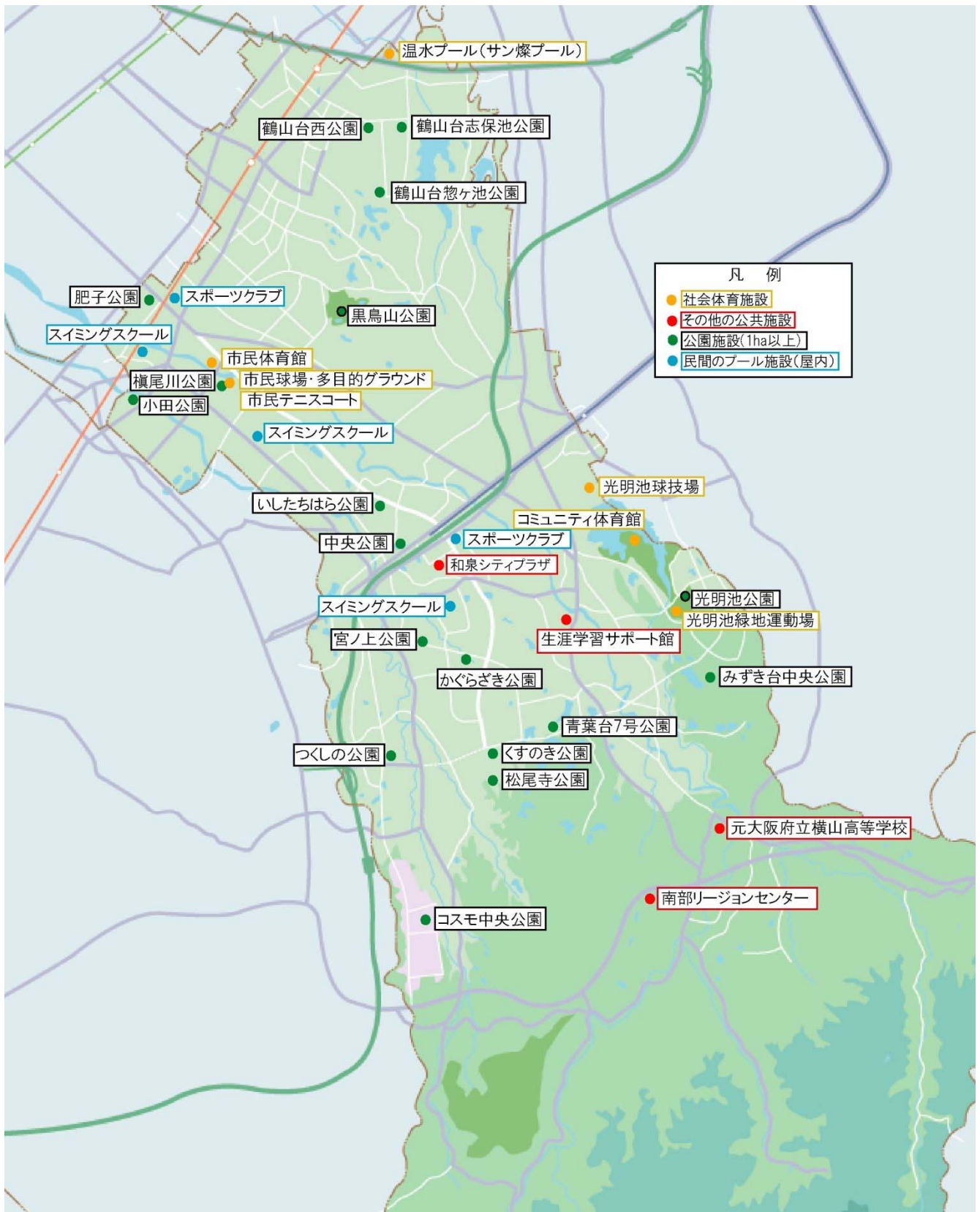
このため、「(仮称)スポーツ推進連絡協議会」を設立し、本計画に定めた目標や施策の進捗状況の把握・点検を定期的に行い、目標が達成できるように検討していきます。



1.和泉市スポーツの歩み

昭和	31年	9月	和泉市誕生	
	32年	4月	和泉市体育連合設立	
	32年	7月	第1回和泉市体育記録会開催	
	38年	4月	和泉市体育指導委員設置	
	39年	10月	東京オリンピック開幕（聖火が和泉市通過）	
	42年	4月	市民球場（市立野球場）完成	
	42年	8月	市民プール完成	
	43年	10月	市立テニスコート完成	
	47年	10月	第1回市民総合スポーツ大会	
	51年	5月	市民体育館完成	
	54年	10月	光明池運動場完成	
	59年	5月	光明池球技場完成	
	60年	4月	光明池緑地運動場完成	
	平成	元年	3月	コミュニティ体育館完成
		2年	10月	第1回和泉総合武道祭開催
3年		11月	和泉市・かつらぎ町友好マラソン大会開催	
5年		5月	第1回和泉市民ファミリー歩こう会開催	
6年		2月	第1回泉州国際市民マラソン開催	
9年		5月	温水プール（サン燦プール）完成	
9年		10月	第52回国民体育大会（なみはや国体）馬術競技開催	
11年		10月	第1回和泉弥生ロマン・ツデーウォーク開催	
12年		4月	和泉市体育連合が和泉市体育協会に名称変更	
12年		10月	スポーツに関する市民意識調査実施	
12年		11月	ねんりんピック2000大阪、和泉市交流マラソン大会開催	
15年		1月	第50回信太山クロスカントリー記念大会開催	
15年		3月	和泉市生涯スポーツ振興基本計画策定（10ヵ年計画）	
18年		3月	第1回和泉市キンボール大会開催	
19年		5月	光明台地区に総合型地域スポーツクラブ（大阪和泉光倶楽部）設立	
19年		9月	和泉市体育協会創設50周年記念式典開催	
23年		8月	和泉市体育指導委員を和泉市スポーツ推進委員に名称変更	
25年		1月	第60回信太山クロスカントリー記念大会開催	
	3月	和泉市スポーツ推進基本計画策定（10ヵ年計画）		

2.和泉市内スポーツ施設マップ



3.和泉市社会体育施設の概要

①市民体育館

所在地	府中町四丁目 20 番 3 号	完成年度	昭和 51 年 5 月
構造	鉄筋コンクリート造 一部 2 階建て		
規模	敷地：8,111 m ² / 建築：2,448 m ²		
施設内容	大体育室 (720 m ²)	バスケットボールコート 1 面相当 (バレーボールコート 2 面、バドミントンコート 3 面相当、卓球、剣道などにも使用可能)	
	小体育室 (345 m ²)	バドミントンコート 1 面相当、卓球、剣道、空手などにも使用可能。	
	トレーニング室 (72 m ²)	トレーニング機器を設置	
	会議室 (34 m ²)		
	その他	指導員室、医務室、放送室、男女ロッカーシャワー室など	
利用時間	9 時～21 時		
申込方法	団 体	オーパス対応 (事前に利用登録が必要)、または施設窓口で申込み。ただし、トレーニング室、会議室は施設窓口申し込みのみ。	
	個 人	施設窓口で申込み。	

②市民球場

所在地	和気町四丁目 5 番 1 号	完成年度	昭和 42 年 4 月
施設内容	両翼 90m、内野観客席、ナイター設備なし		
利用時間	8 時～18 時 (10 月～3 月は 17 時まで)		
申込方法	オーパス対応 (事前に利用登録が必要)、または市民体育館窓口で申込み。		

③市立テニスコート

所在地	和気町四丁目 5 番 1 号	完成年度	昭和 43 年 10 月
施設内容	砂入人工芝コート 2 面、照明設備なし		
利用時間	8 時～18 時 (10 月～3 月は 17 時まで)		
申込方法	オーパス対応 (事前に利用登録が必要)、または市民体育館窓口で申込み。		

④光明池球技場

所在地	室堂町 1066 番地	完成年度	昭和 59 年 5 月
規模	敷地：26,678 m ²		
施設内容	運動広場 A (8,745 m ²)	照明設備あり	
	運動広場 B (3,932 m ²)		
	テニスコート (2,878 m ²)	砂入人工芝コート 4 面、照明設備あり	
	その他	管理事務所、男女更衣室・シャワー室、会議室、ホール	
利用時間	運動広場 A テニスコート	4～11 月：9 時～21 時、12～3 月：9 時～17 時	
	運動広場 B	4～9 月：9 時～18 時、10～3 月：9 時～17 時	
申込方法	オーパス対応 (事前に利用登録が必要)、または施設窓口で申し込み。		

⑤光明池緑地運動場

所在地	光明台三丁目 36 番地 1	完成年度	昭和 60 年 4 月
規模	敷地：55,600 ㎡		
施設内容	運動場 A・B (14,621 ㎡)		
	テニスコート (2,878 ㎡)	砂入人工芝コート 4 面	
	テニス練習板 (368 ㎡)		
	その他	管理事務所、男女更衣室・シャワー室、ホール	
利用時間	4 月～9 月：9 時～18 時 / 10 月～3 月：9 時～17 時		
申込方法	オーパス対応（事前に利用登録が必要）、または施設窓口で申し込み。		

⑥コミュニティ体育館

所在地	光明台一丁目 44 番 8 号	完成年度	平成元年 3 月
構造	鉄筋コンクリート造 2 階建て		
規模	敷地：185,701 ㎡ / 建築：3,038 ㎡		
施設内容	体育室 (1,430 ㎡)	バスケットボールコート 2 面相当（バレーボールコート 3 面、バドミントンコート 8 面相当、卓球、剣道、空手などにも使用可能） 観客席 128 席	
	トレーニング室 (143 ㎡)	トレーニング機器を設置	
	会議室 (93 ㎡)		
	研修室 (85 ㎡)		
	その他	指導員室、医務室、健康相談室、放送室、男女ロッカーシャワー室など	
利用時間	9 時～21 時		
申込方法	団 体	オーパス対応（事前に利用登録が必要）、または施設窓口で申込み。ただし、トレーニング室、会議室は施設窓口申し込みのみ。	
	個 人	施設窓口で申込み。	

⑦温水プール（サン燦プール）

所在地	上町 584 番地の 1	完成年度	平成 9 年 5 月
構造	鉄筋コンクリート造 2 階建て		
施設内容	温水プール	25m×コース（泳ぎ専門、歩行専用などに分割）	
	子ども用プール		
	トレーニングジム	マシン各種	
	多目的ルーム	エアロビクス、体操などに使用	
	その他	男女ロッカー室、シャワールーム、ジャグジー、採暖室	
利用時間	10 時～22 時（日祝 19 時まで、ただし夏期は 22 時まで）		
申込方法	施設窓口で申し込み。		

※オーパスシステムとは、大阪府域 17 自治体が共同で利用し、住民へ提供するスポーツ施設情報システムサービスです。施設を管理している窓口へ利用者登録の届出をされた後は、窓口になんら出向かずに、いつでもどこからでも利用手続きができます。利用者は、電話・インターネット・携帯電話ウェブサイトや、市役所・体育施設などに設置している街頭端末機を利用して手続きを行います。

4.和泉市社会体育施設等の利用実態（経年変化）

●施設用途別の経年変化

(単位:人)

区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
体育館	98,900	95,115	94,228	93,418	96,169	96,607	97,215	98,786	99,910
グラウンド等	66,736	64,140	72,802	84,897	86,721	87,160	89,124	92,640	78,142
テニスコート	69,188	74,519	76,855	78,598	81,268	82,992	86,388	85,361	91,057
プール(温水+市民プール)	226,350	228,967	236,678	228,803	224,758	216,704	194,292	200,554	178,188
体育施設計	461,174	462,741	480,563	485,716	488,916	483,463	467,019	477,341	447,297

●個別施設の経年変化

(単位:人)

区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
テニスコート	35,249	34,553	36,195	38,833	38,772	36,607	40,212	38,791	37,143
運動広場A	15,859	16,314	16,218	19,792	19,371	17,264	16,978	18,956	13,065
運動広場B	2,119	2,356	4,632	10,230	7,500	7,850	7,911	8,728	6,838
合計	53,227	53,223	57,045	68,855	65,643	61,721	65,101	66,475	57,046

光明池緑地運動場

区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
テニスコート	23,787	28,233	29,181	28,711	29,446	29,201	29,357	28,869	27,393
テニス練習場	1,917	2,631	2,786	2,781	2,627	2,815	2,797	2,305	2,522
運動広場A・B	19,044	14,946	18,026	18,374	20,124	18,646	19,742	23,159	24,302
合計	44,748	45,810	49,993	49,866	52,197	50,662	51,896	54,333	54,217

温水プール(サン燦プール)

区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
温水プール	139,994	141,120	139,367	143,441	134,296	142,033	124,600	125,932	122,716
トレーニングジム	49,574	51,421	59,731	50,486	51,271	42,320	41,617	44,134	42,212
共通(プール・ジム)	25,117	24,939	25,811	21,795	25,212	18,684	14,480	15,313	13,260
合計	214,685	217,480	224,909	215,722	210,779	203,037	180,697	185,379	178,188

市民体育館

区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
体育室	13,696	13,463	11,961	12,031	12,436	13,134	12,309	13,461	14,084
会議室	5,381	4,227	3,260	1,897	1,370	1,412	1,352	1,829	1,984
スポーツ教室	19,156	17,545	18,709	17,787	17,799	17,519	17,067	17,303	16,616
月極会員・体育室	4,221	4,175	2,965	3,092	2,929	3,421	3,954	3,918	4,397
月極会員・トレーニング室	2,201	2,580	3,045	3,391	3,072	2,979	3,421	3,028	2,211
当日個人利用・体育室	8,579	7,418	7,697	8,216	8,985	8,071	7,872	7,603	7,362
合計	53,234	49,408	47,637	46,414	46,591	46,536	45,975	47,142	46,654

コミュニティ体育館

区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
体育室	14,600	15,442	16,911	16,543	16,845	18,310	20,378	21,279	20,826
会議室	1,763	2,475	2,675	3,186	2,696	2,146	2,471	3,158	3,050
研修室	1,297	937	1,299	1,232	1,312	1,180	1,242	1,306	1,218
スポーツ教室	10,661	10,396	11,124	11,489	11,804	11,279	10,439	11,097	9,929
月極会員・体育室	4,448	3,589	2,096	1,655	2,145	2,511	1,979	1,715	3,869
月極会員・トレーニング室	4,696	4,882	4,870	4,934	5,533	5,871	6,371	5,204	5,607
当日個人利用・体育室	8,201	7,986	7,616	7,965	9,243	8,774	8,360	7,885	8,757
合計	45,666	45,707	46,591	47,004	49,578	50,071	51,240	51,644	53,256

市民球場

区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
市民球場	21,484	21,946	22,739	24,892	24,937	22,237	24,557	24,165	20,275

多目的グラウンド

区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
多目的グラウンド	8,230	8,578	11,187	11,609	14,789	21,163	19,936	17,632	13,662

市立テニスコート

区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
市立テニスコート	8,235	9,102	8,693	8,273	10,423	14,369	14,022	15,396	14,298

市民プール

区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
市民プール	11,665	11,487	11,769	13,081	13,979	13,667	13,595	15,175	-

くすのき公園(公園緑地課所管)

区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
テニスコート	-	-	-	-	-	-	-	-	9,701

※平成23年度オープン

5.公共のスポーツイベントの開催・参加状況（平成13・23年度）

●スポーツ振興課所管事業

	平成13年度		平成23年度		主会場
	回数 (回/年)	参加者数 (人/年)	回数 (回/年)	参加者数 (人/年)	
春の歩こう会	1	160	1	128	
チャレンジ・ザウォーク	1	200	1	326	光明池周辺
親子ふれあい体験乗馬	2	120	2	84	乗馬クラブ
市民ゴルフ大会	1	130	1	168	ゴルフクラブ
市民キンボール大会	-	-	1	79	桃山学院大学
信太山クロスカントリー大会	1	750	1	2,242	信太山
ニュースポーツ教室	-	-	12	261	桃山学院大学
泉州国際市民チャリティーマラソン	-	-	1	294※	
市民スポーツ・レクリエーション大会	1	250	-	-	市民体育館及び多目的グラウンド
夏休みこども体操教室	1	60	-	-	市民体育館
市民体カテスト	1	50	-	-	市民体育館
インディアカ大会	1	180	-	-	コミュニティ体育館
親子体操教室	1	80	-	-	市民体育館
合計	11	1,980	20	3,582	

※和泉市民の参加者数

●青少年センター所管事業

	平成13年度		平成23年度		主会場
	回数 (回/年)	参加者数 (人/年)	回数 (回/年)	参加者数 (人/年)	
アイススケート	-	-	1	49	尼崎スポーツの森
キッズダンス	-	-	2	50	幸小体育館
キンボール	-	-	2	41	青少年センター
ピンポウリング	-	-	1	29	幸小体育館
バスケットボール	-	-	2	34	幸小体育館
軟式野球体験	-	-	1	20	幸小運動場
キャンプファイヤー講習会	-	-	1	7	青少年センター
野外炊飯講座	-	-	1	46	青少年センター
デイキャンプをしよう	-	-	1	34	青少年センター
合計	0	0	12	310	

●農林課所管事業(クリーンハイクに関しては公園緑地課と合同)

	平成13年度		平成23年度		主会場
	回数 (回/年)	参加者数 (人/年)	回数 (回/年)	参加者数 (人/年)	
大阪山の日 榎尾山クリーンハイク	-	-	1	61	ふれあい農の里、榎尾山施福寺等
和泉農業担い手塾	-	-	15	261	JA横山支店、鍛冶屋町農園等
ファームステイ和泉モデル事業	-	-	2	22	和泉市立青少年の家等
野菜バリバリ推進事業	-	-	11	999	横山小、北池田小、光明台北小
森林ボランティア養成講座	-	-	5	34	和泉市南部リージョンセンター、久井町
健康体操講習会	1	306	-	-	コミュニティセンター
合計	1	306	34	1,377	

●文化財振興課所管事業

	平成13年度		平成23年度		主会場
	回数 (回/年)	参加者数 (人/年)	回数 (回/年)	参加者数 (人/年)	
歴史ウォーク	1	3,000	1	200	横山高校跡地～光明池

●商工労働室商工観光担当所管事業

	平成13年度		平成23年度		主会場
	回数 (回/年)	参加者数 (人/年)	回数 (回/年)	参加者数 (人/年)	
和泉弥生ロマン・ツーデーウォーク	1	3,500	1	2,888	市内各所

●障がい福祉課所管事業

	平成13年度		平成23年度		主会場
	回数 (回/年)	参加者数 (人/年)	回数 (回/年)	参加者数 (人/年)	
障がい者の集い	1	350	1	400	市民体育館

●生涯学習課(こども会主催)所管事業

	平成13年度		平成23年度		主会場
	回数 (回/年)	参加者数 (人/年)	回数 (回/年)	参加者数 (人/年)	
ソフト・キックルール説明会	2	233	1	149	国府小学校他
スポーツ大会(キック・ソフト)	1	300	1	507	緑地運動施設
わんぱく相撲大会	1	100	1	52	聖神社
駅伝・マラソン大会	1	300	1	72	緑地運動施設
合計	5	933	4	780	

6.主なスポーツ教室の開催・参加状況（平成13・18・23年度）

●和泉市社会体育施設実施事業 市民体育館

教室名	平成13年度		平成18年度		平成23年度	
	回数 (回/年)	参加者数 (人/年)	回数 (回/年)	参加者数 (人/年)	回数 (回/年)	参加者数 (人/年)
いきいき体操A・B・C	-	-	122	4,835	114	4,259
エアロビクス	39	1,158	37	1,398	37	805
親子健康体操	39	1,217	37	2,082	37	2,804
こども空手道	-	-	-	-	38	856
こども剣道	42	841	42	569	41	653
こども体操A・B	76	2,677	74	2,851	74	2,817
熟年体操A・B	80	2,538	-	-	-	-
太極拳	40	718	41	1,787	38	972
空手道	42	366	40	565	-	-
卓球A・B・C	83	2,137	82	3,885	117	4,056
バドミントンA・B・C	128	2,218	122	3,842	116	3,121
バレーボール(一般・女性)	85	1,546	81	1,481	-	-
フレッシュ体操A・B	79	1,705	78	1,515	75	1,509
計	733	17,121	756	24,810	687	21,852

※教室名は23年度の名称(23年度未実施教室の場合、13・18年度の教室名称)

コミュニティ体育館

教室名	平成13年度		平成18年度		平成23年度	
	回数 (回/年)	参加者数 (人/年)	回数 (回/年)	参加者数 (人/年)	回数 (回/年)	参加者数 (人/年)
一般バドミントン(一般・女性)	82	1,646	79	2,684	73	1,780
エアロビクス	44	1,391	41	1,788	38	1,246
フレッシュ体操	44	254	41	563	38	324
親子健康体操	44	538	41	1,226	38	1,462
こども体操	44	1,459	41	1,578	38	1,256
バレーボール(一般・女性)	84	1,013	83	1,788	75	828
熟年体操	43	1,589	40	1,815	38	1,439
一般バスケットボール	43	416	40	405	38	269
女性卓球	43	1,057	40	1,470	36	1,098
一般太極拳	43	1,030	40	1,716	36	320
こども剣道	43	493	40	617	36	514
計	557	10,886	526	15,650	484	10,536

光明池球技場

教室名	平成13年度		平成18年度		平成23年度	
	回数 (回/年)	参加者数 (人/年)	回数 (回/年)	参加者数 (人/年)	回数 (回/年)	参加者数 (人/年)
テニス教室(女性初心者・初級者)	120	*494	120	5,834	120	4,142
シニア硬式テニス教室	-	-	15	210	60	613
こどもサッカー教室	-	-	128	2,304	48	1,721
計	120	*494	263	8,348	228	6,476

※教室名は23年度の名称

※平成13年度は申込者数

光明池緑地運動場

教室名	平成13年度		平成18年度		平成23年度	
	回数 (回/年)	参加者数 (人/年)	回数 (回/年)	参加者数 (人/年)	回数 (回/年)	参加者数 (人/年)
こどもサッカー教室	-	-	53	954	48	768

7.和泉市スポーツ推進基本計画策定委員会名簿

敬称略・順不同

所 属	氏 名	備 考
和泉市スポーツ推進委員協議会代表	辻 治	委員長
和泉市体育協会代表	恵 山 文 孝	副委員長
和泉市町会連合会代表	西 村 馨	
和泉市連合婦人会代表	坂 上 加代子	
和泉市青少年指導委員協議会代表	高 井 政 雄	
和泉市PTA協議会代表	山 崎 茂 樹	
和泉市老人クラブ連合会代表	岩 崎 勢津男	
和泉市こども会育成連絡協議会代表	福 田 昌 文	
和泉市こども会リーダークラブ代表	新井川 謙	
和泉市障がい者団体連絡会代表	中 坊 初 美	
公募市民	宝 閣 善 信	
学識経験者 大阪市立大学 都市健康・スポーツ研究センター 准教授	岡 崎 和 伸	
学識経験者 桃山学院大学 社会学部社会福祉学科 講師	竹 内 靖 子	

8.和泉市スポーツ推進基本計画策定委員会審議の経過

回数	開催日	内容
第1回	平成24年7月19日(木)	<ul style="list-style-type: none"> • 委員長・副委員長の選出 • 計画作成のスケジュールについて • 市民アンケート調査について
第2回	平成24年10月30日(火)	<ul style="list-style-type: none"> • 市民アンケート調査結果について • 計画素案について 計画策定にあたって 本市のスポーツに関わる現状 本市のスポーツ推進に向けた課題の整理
第3回	平成24年12月4日(火)	<ul style="list-style-type: none"> • 計画素案について 基本方針と目標 具体的施策の展開 計画の推進体制について • 市民プールについて • 元大阪府立横山高等学校の整備について
第4回	平成25年2月19日(火)	<ul style="list-style-type: none"> • 和泉市スポーツ推進基本計画(素案)の修正について • パブリックコメントの意見要旨と本市の考え方について • 和泉市スポーツ推進基本計画(素案)について • 市民プールに関する意見書(案)について • 元大阪府立横山高等学校跡地の活用に関する意見書(案)について

9.和泉市スポーツ推進基本計画策定委員会規則

平成24年7月9日
教委規則第11号

(趣旨)

第1条 この規則は、和泉市附属機関に関する条例（昭和32年和泉市条例第43号）第2条の規定に基づき、和泉市スポーツ推進基本計画策定委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(担当事務)

第2条 委員会の担当事務は、次のとおりとする。

- (1) 和泉市のスポーツ推進に関する重要事項について調査及び審議すること。
- (2) 和泉市スポーツ推進基本計画（以下「計画」という。）の策定に係る情報収集及び分析すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか和泉市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が計画策定に必要なと認めること。

(組織)

第3条 委員会は、委員15人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が委嘱する。

- (1) 関係団体の代表者
- (2) 学識経験者
- (3) 公募による市民

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱した日から計画が策定された日までとする。

2 補欠により選任した委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長各1人を置き、委員の互選により定める。

- 2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときはその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集する。ただし、委員長が選任されていない場合その他委員長が招集できない場合は、教育長が招集する。

- 2 委員会は、委員の定数の半数以上の委員が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

(関係者の出席)

第7条 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、スポーツ振興担当部署において処理する。

(補則)

第9条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員長が定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

和泉市スポーツ推進基本計画

発行 平成 25 年 3 月
和泉市

〒594-8501 大阪府和泉市府中町二丁目 7 番 5 号
TEL:0725-41-1551 (代表)
FAX:0725-41-0599

